

Ⅲ 調査結果

1 男女の役割や地位に関する意識について

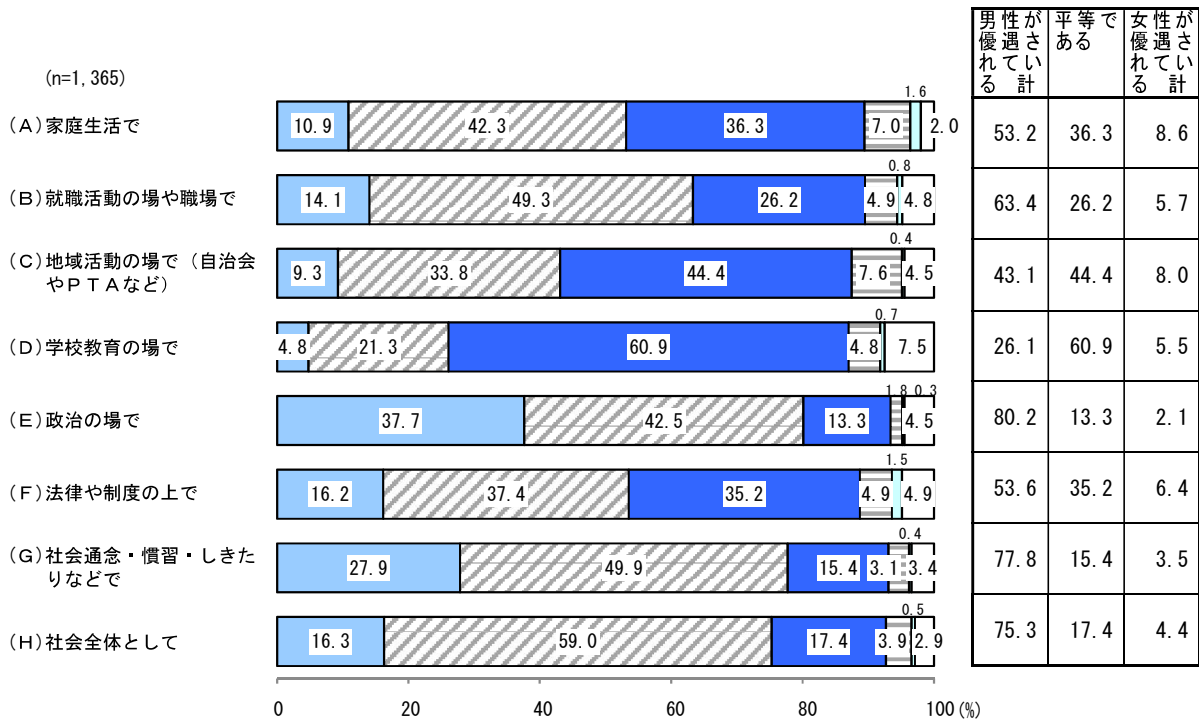
(1) 各分野の男女の地位の平等感

問1 あなたは、次にあげる分野で、男女はどの程度平等になっていると思いますか。(それぞれ○は一つ)

全体、性別ともに、『(D) 学校教育の場で』において「平等である」との回答が最も高い。

性別で見ると、いずれの項目も女性の“男性が優遇されている計”の割合は男性に比べて10ポイント以上高くなっており、『(A) 家庭生活上で』『(C) 地域活動の場で(自治会やPTAなど)』『(F) 法律や制度の上で』で男女差がより大きくなっている。

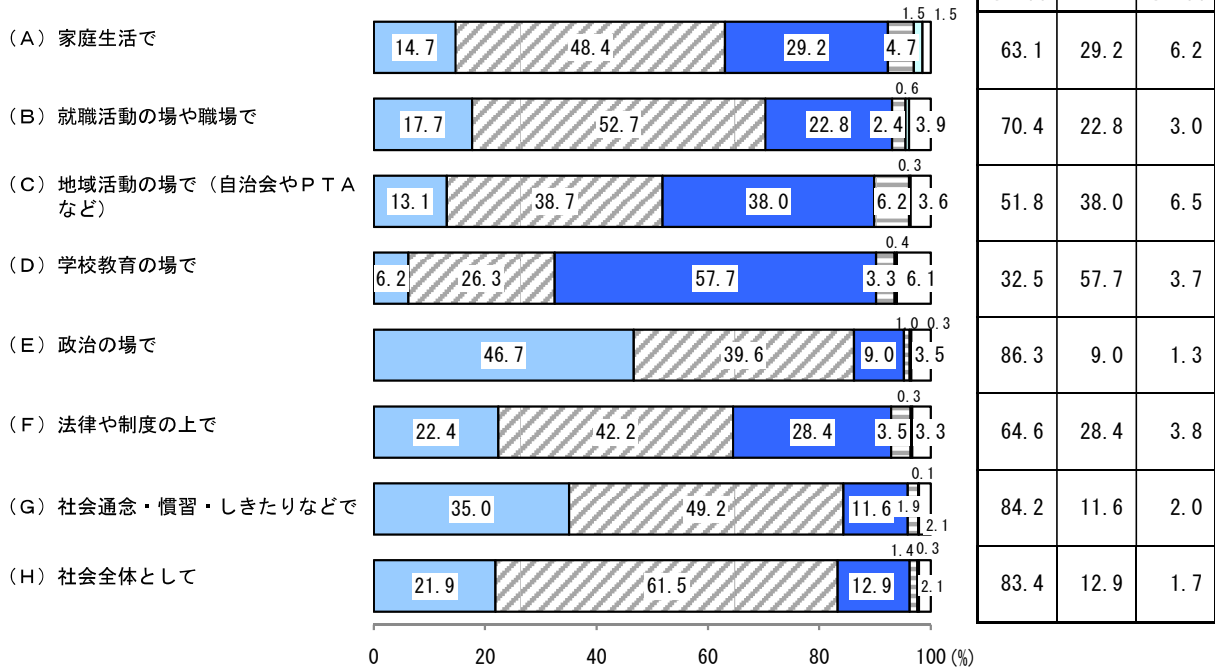
前回調査との比較で見ると、『(E) 政治の場で』以外の項目において、「平等である」との全体の回答は前を上回っている。



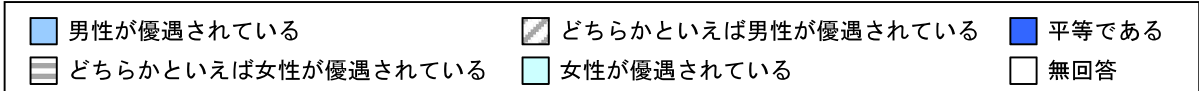
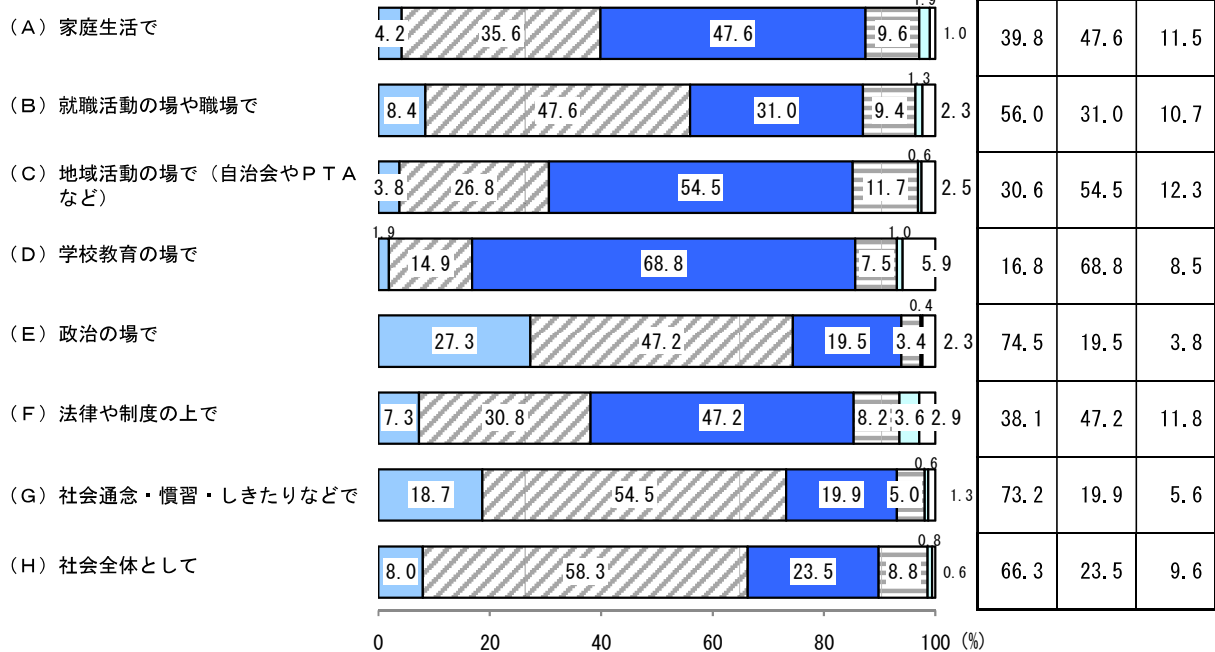
■ 男性が優遇されている
 どちらかといえば男性が優遇されている
 ■ 平等である
 どちらかといえば女性が優遇されている
 ■ 女性が優遇されている
 □ 無回答

※男性が優遇されている計：「男性が優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」をあわせた値
 女性が優遇されている計：「女性が優遇されている」「どちらかといえば女性が優遇されている」をあわせた値

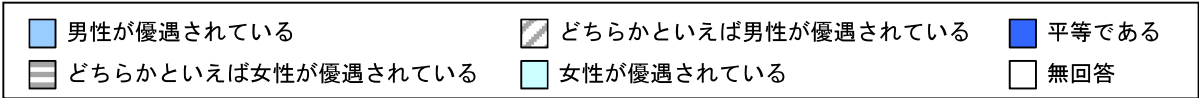
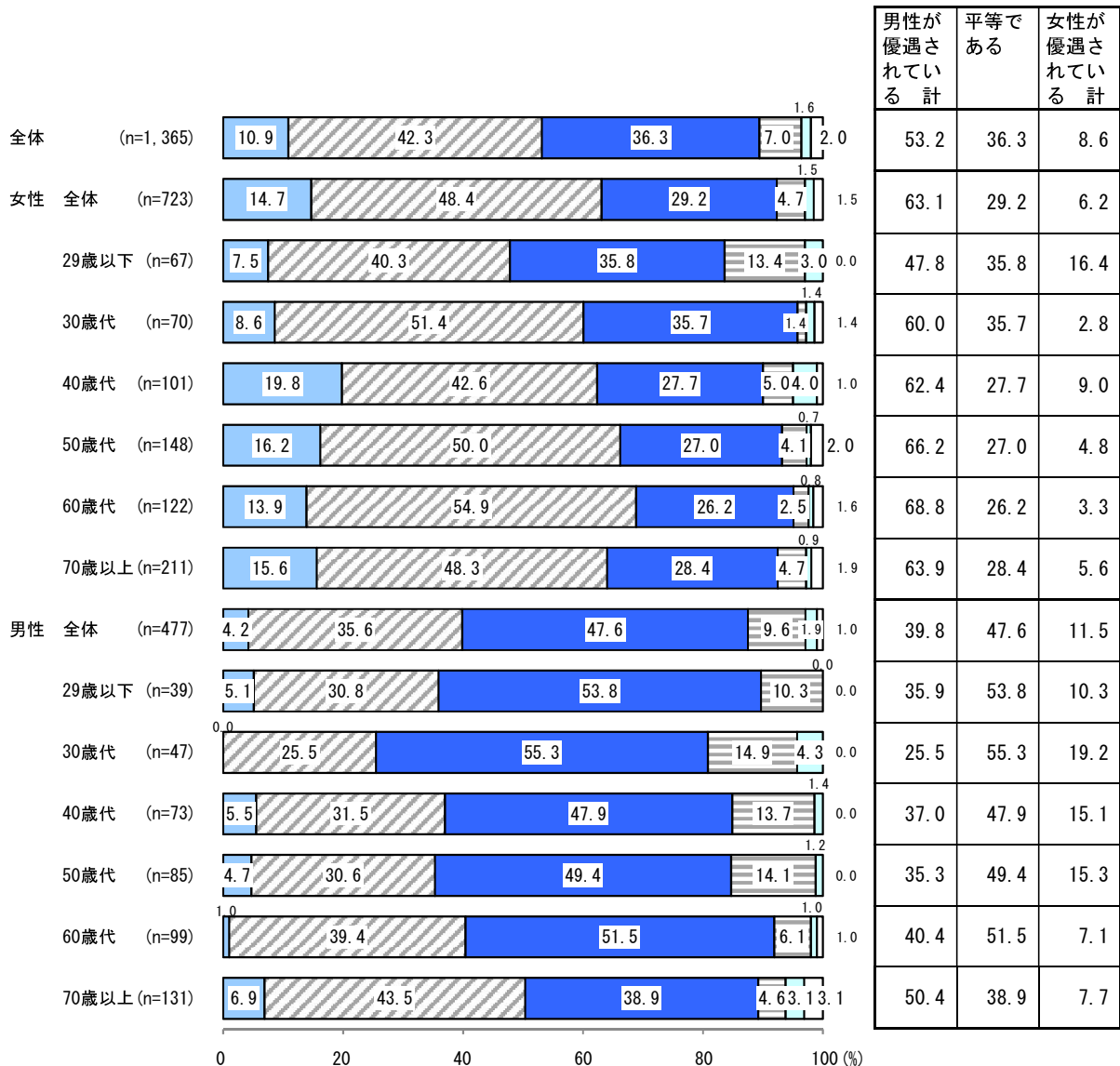
女性(n=723)



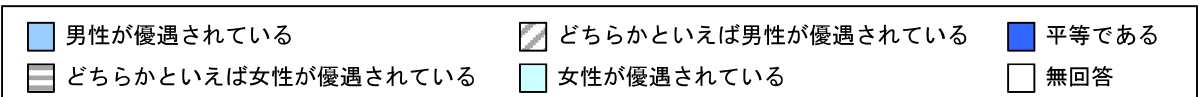
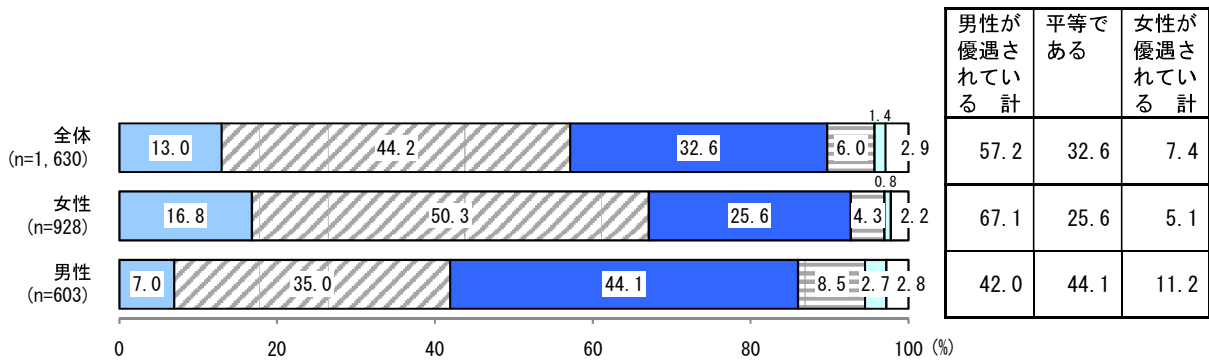
男性(n=477)



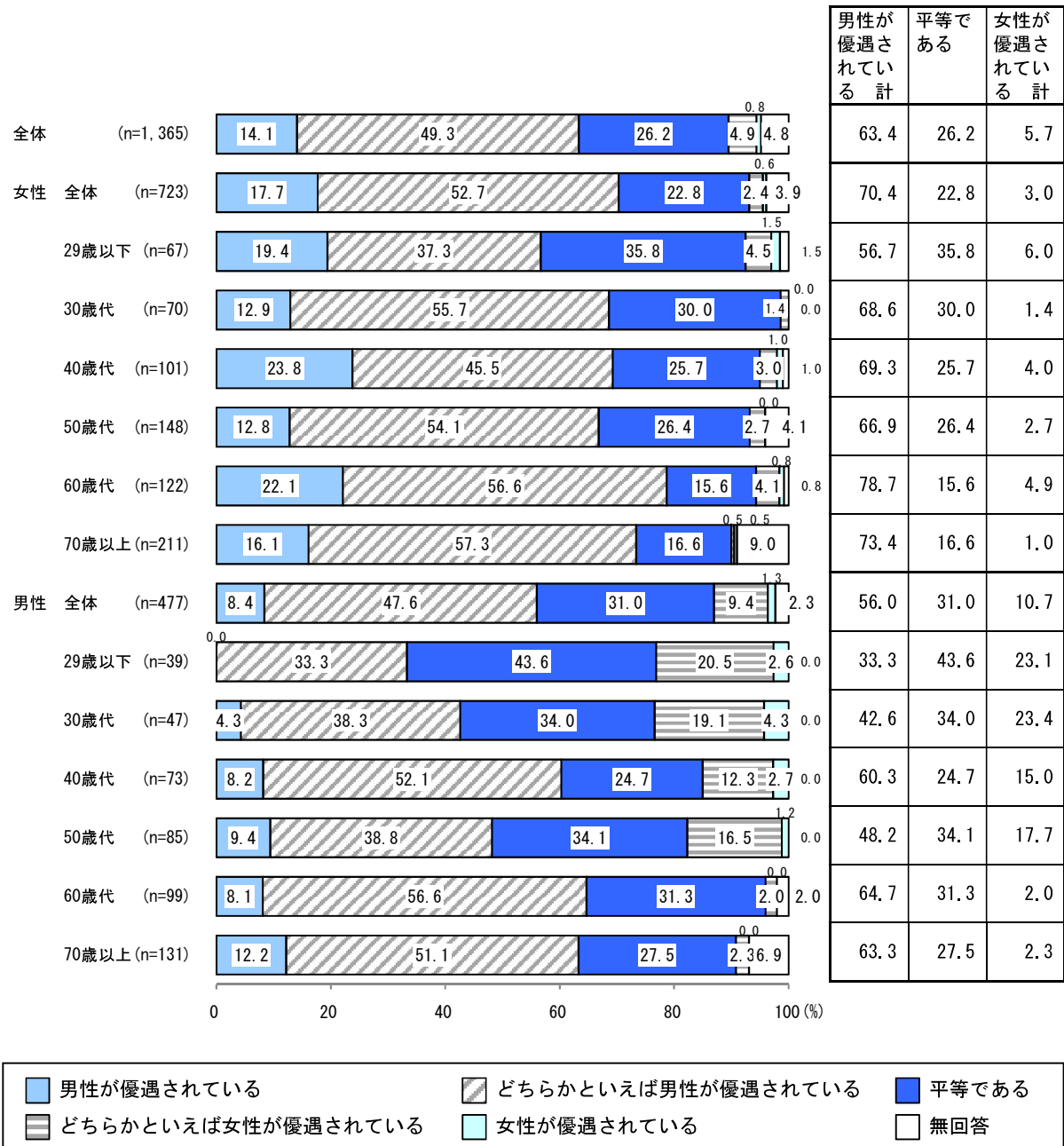
(A) 家庭生活で



【前回調査（令和2年）】

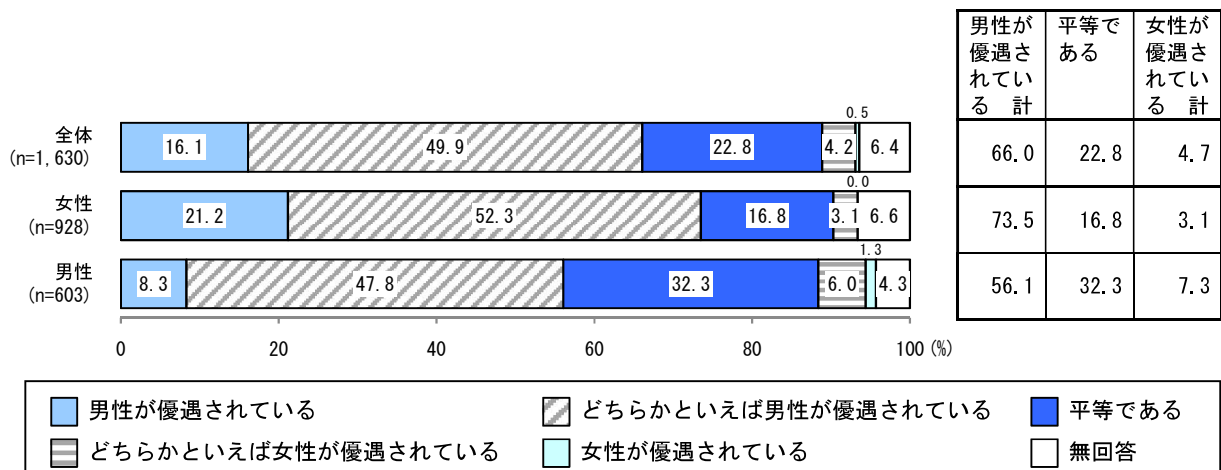


(B) 就職活動の場や職場で



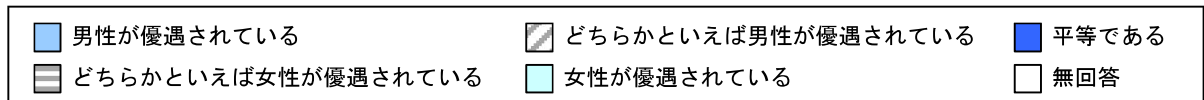
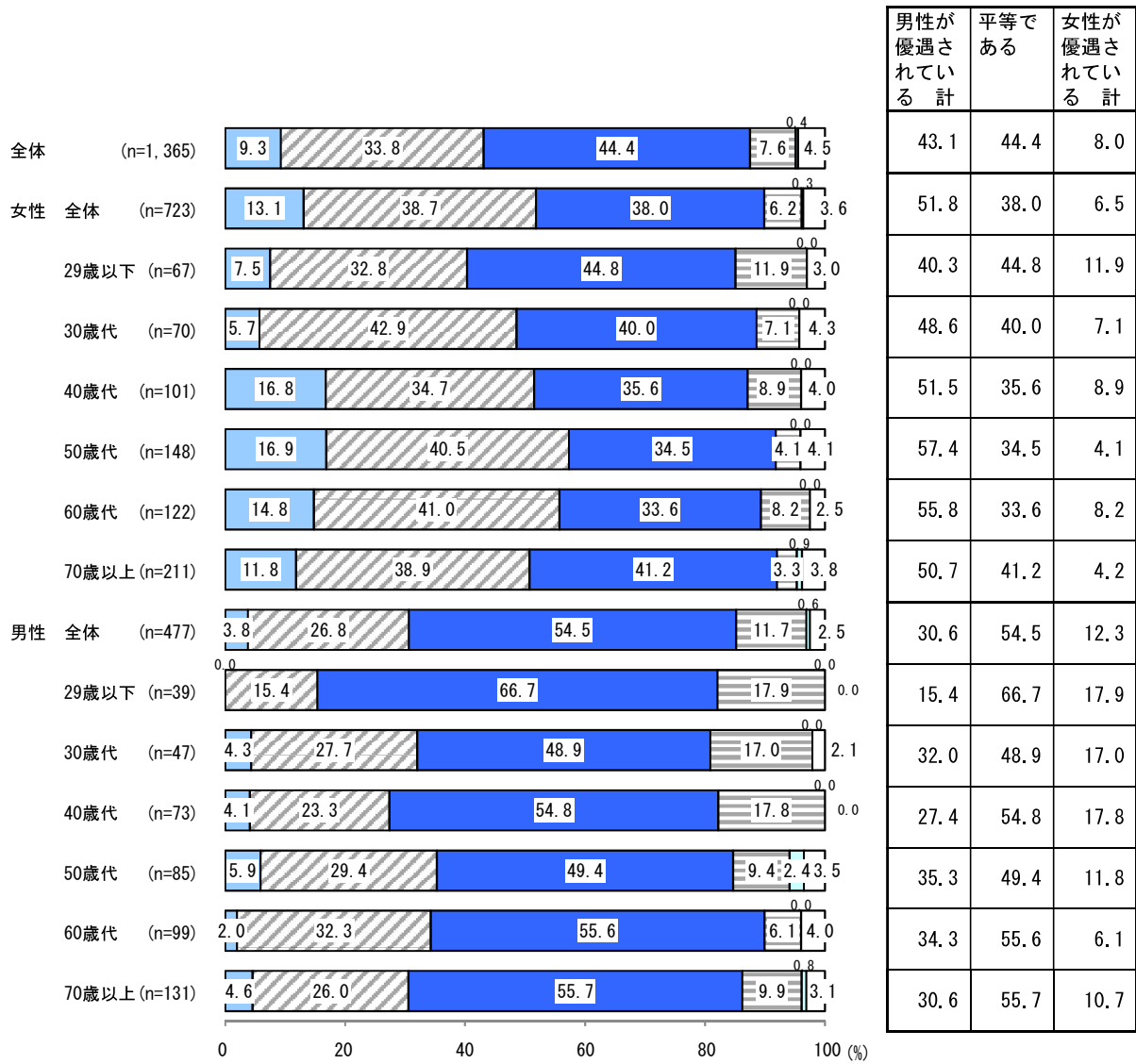
男性が優遇されている
 どちらかといえば男性が優遇されている
 平等である
 どちらかといえば女性が優遇されている
 女性が優遇されている
 無回答

【前回調査 (令和2年)】

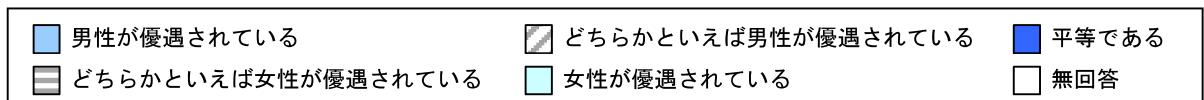
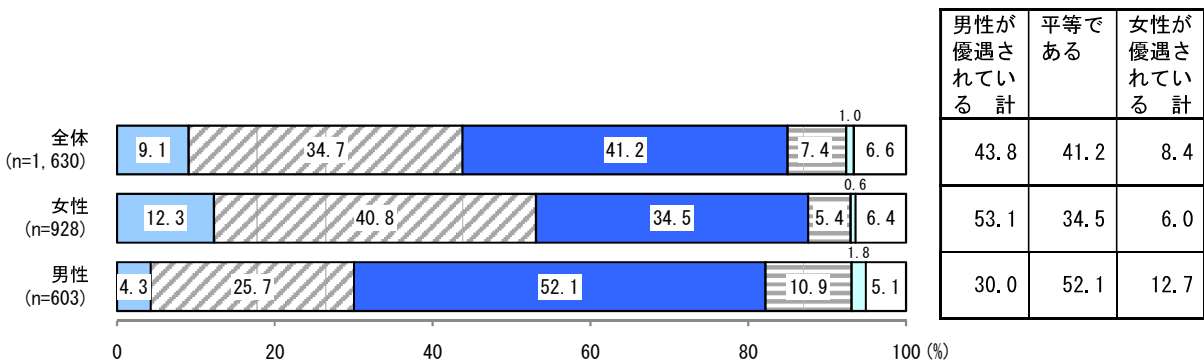


男性が優遇されている
 どちらかといえば男性が優遇されている
 平等である
 どちらかといえば女性が優遇されている
 女性が優遇されている
 無回答

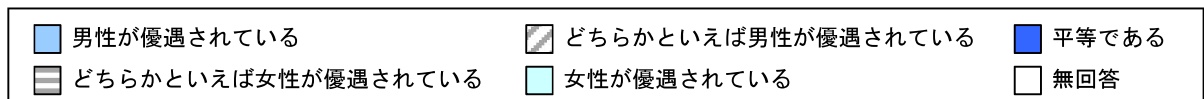
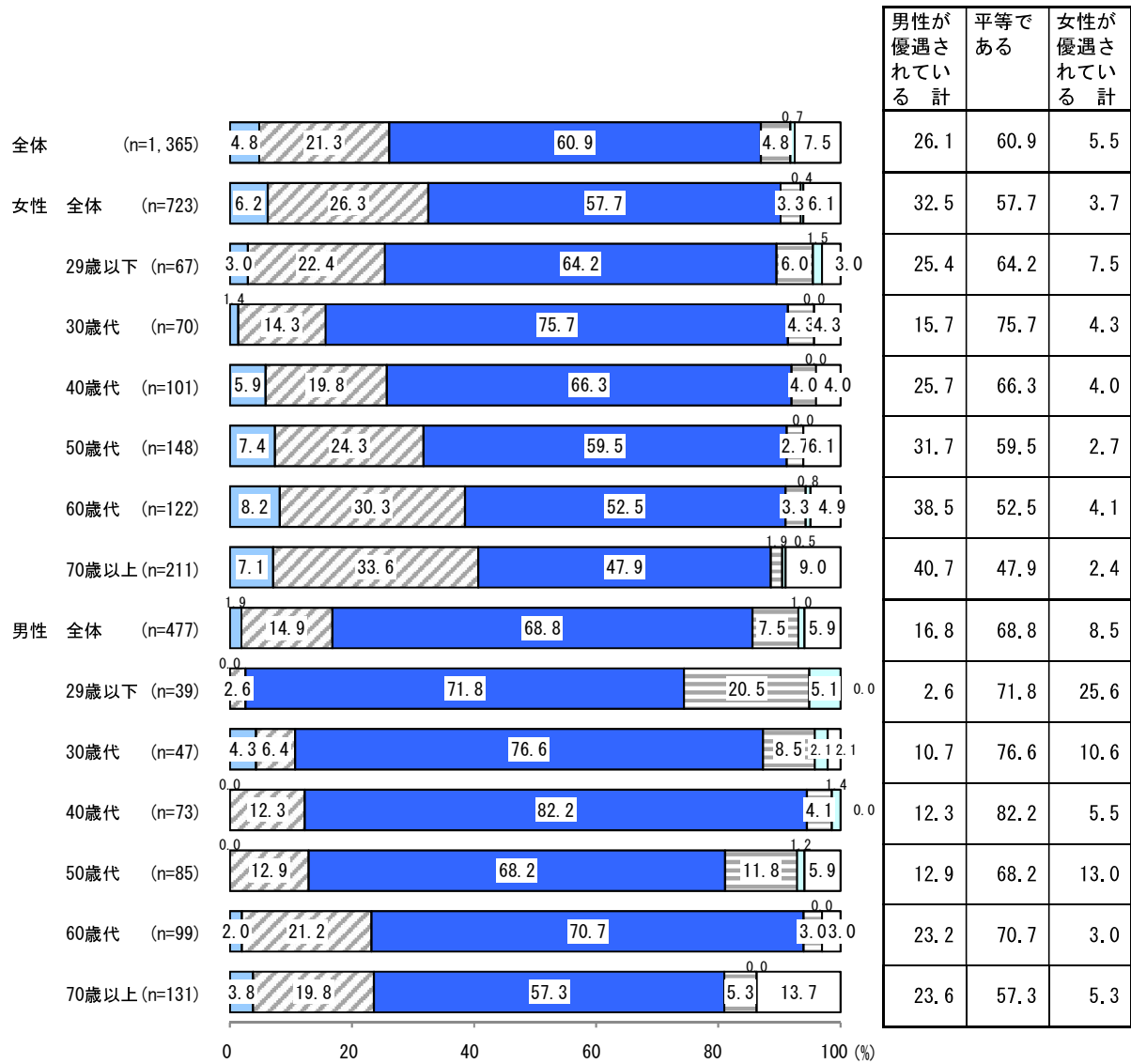
(C) 地域活動の場で (自治会やPTAなど)



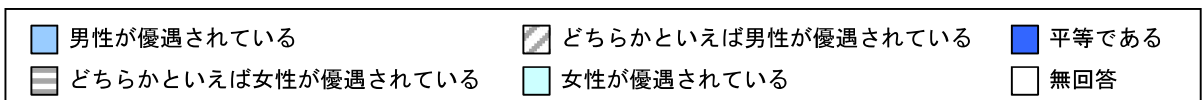
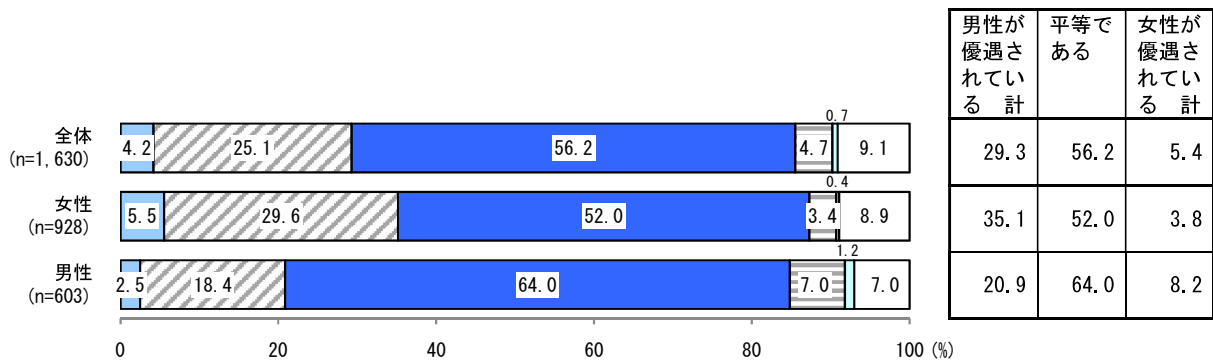
【前回調査 (令和2年)】



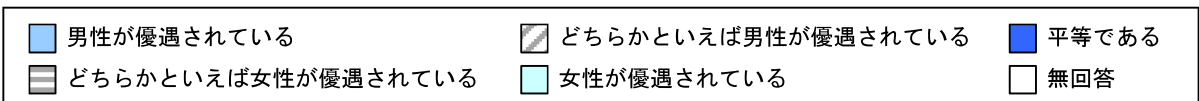
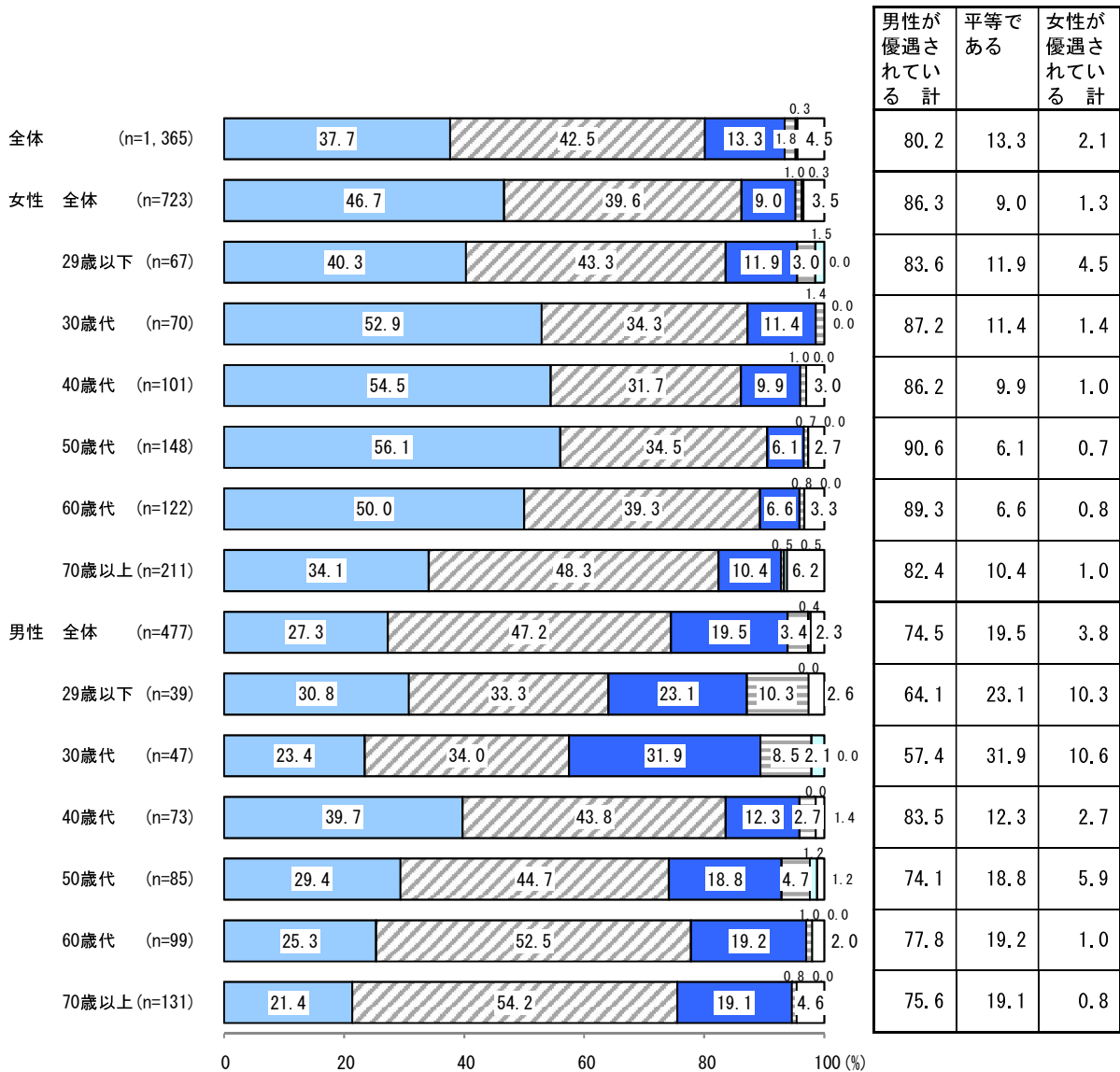
(D) 学校教育の場で



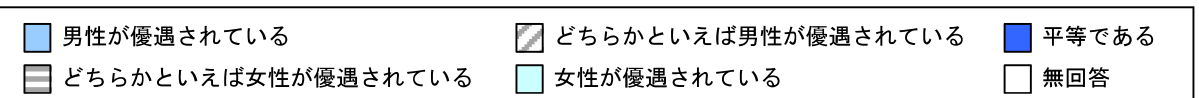
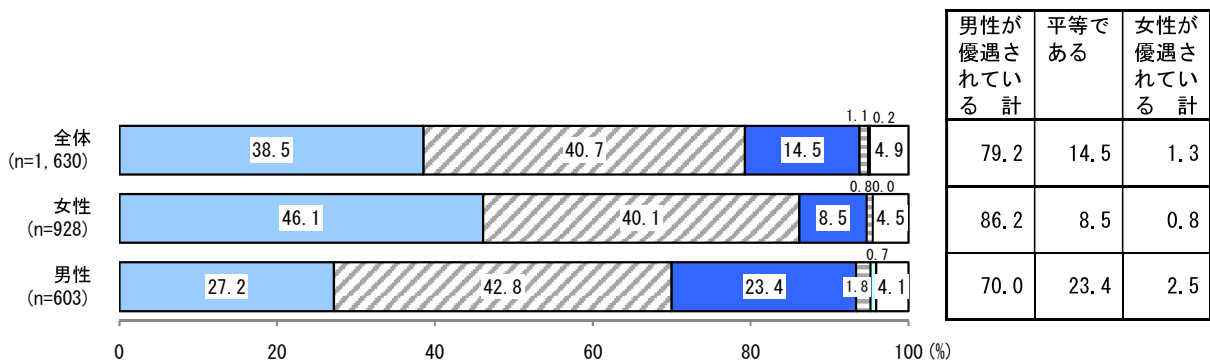
【前回調査（令和2年）】



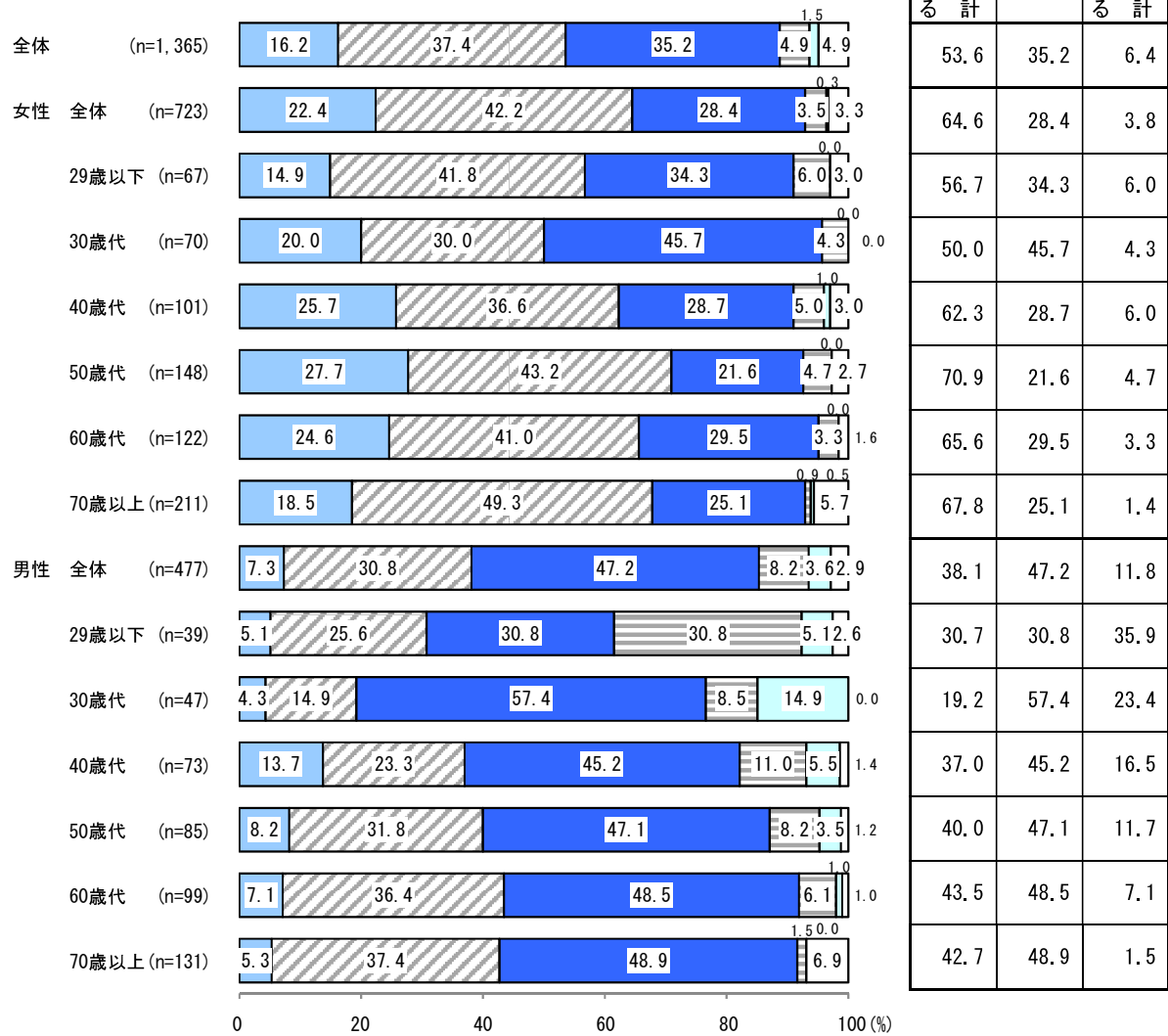
(E) 政治の場で



【前回調査（令和2年）】

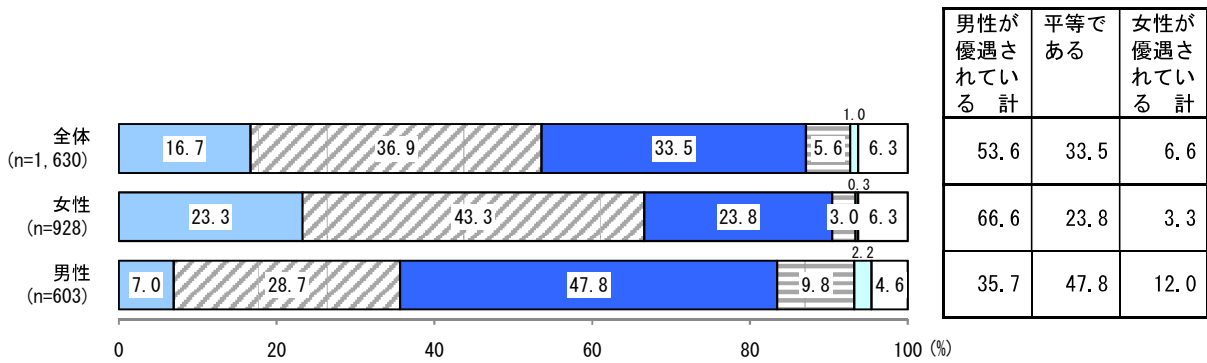


(F) 法律や制度の上で



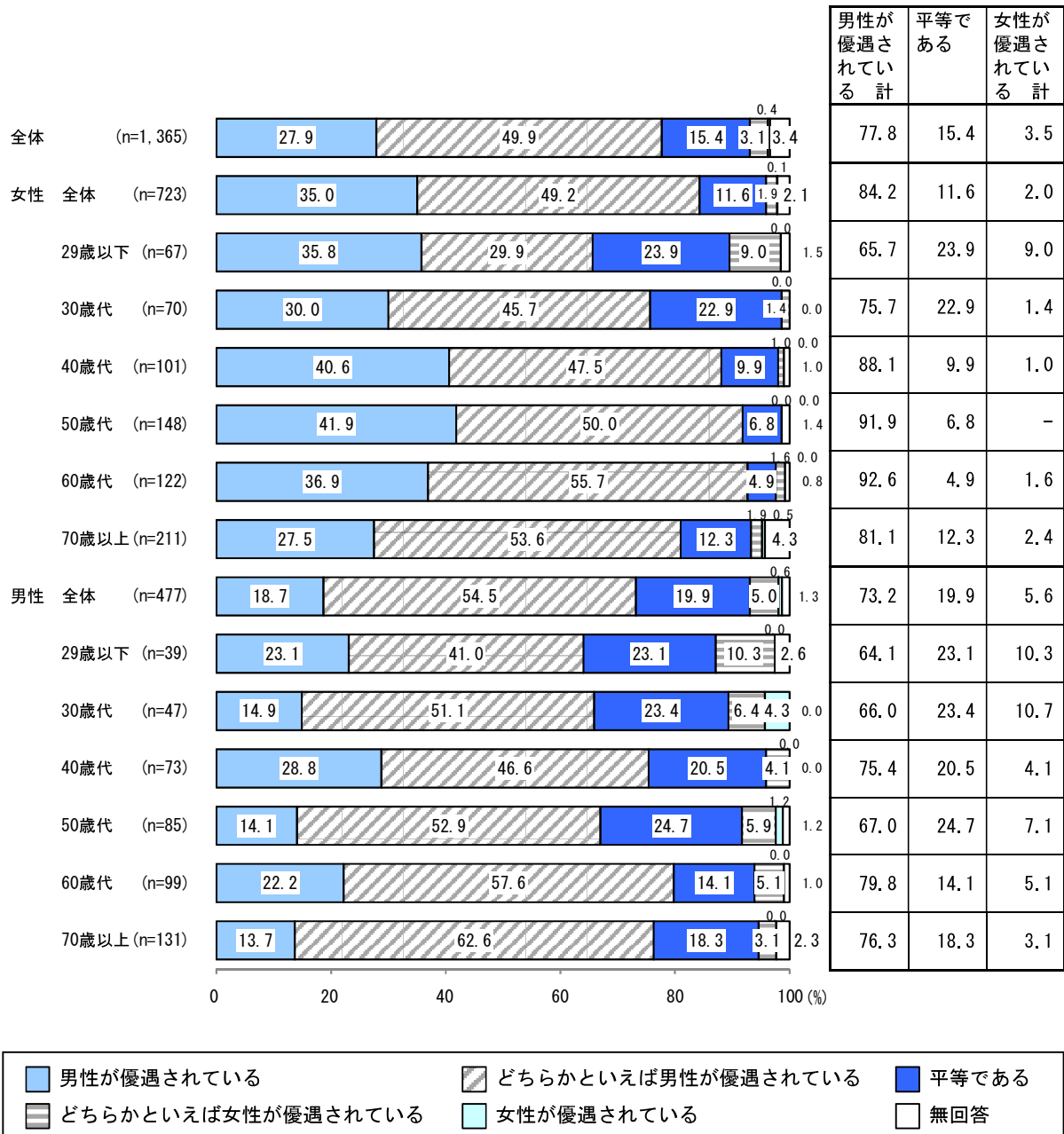
男性が優遇されている
 どちらかといえば男性が優遇されている
 平等である
 どちらかといえば女性が優遇されている
 女性が優遇されている
 無回答

【前回調査（令和2年）】



男性が優遇されている
 どちらかといえば男性が優遇されている
 平等である
 どちらかといえば女性が優遇されている
 女性が優遇されている
 無回答

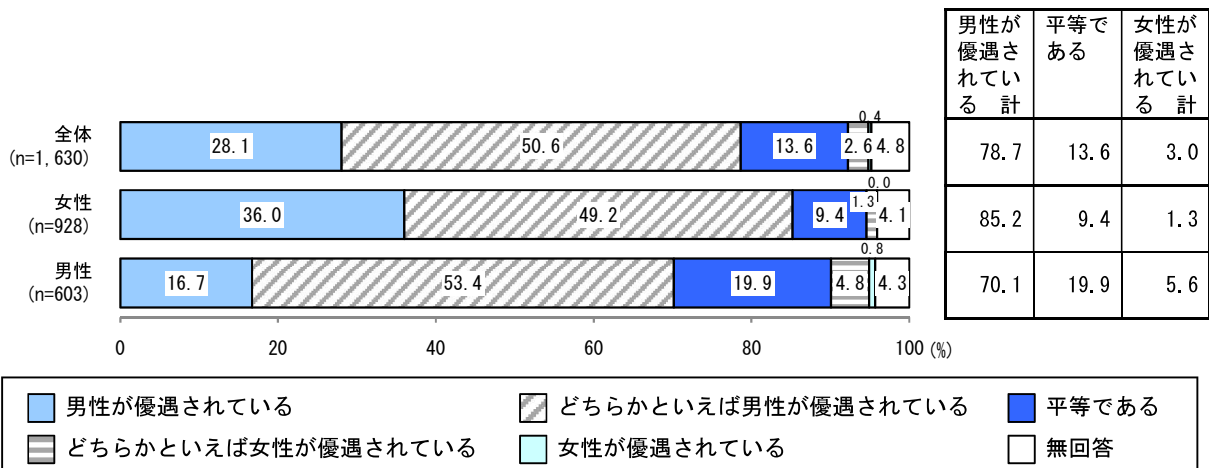
(G) 社会通念・慣習・しきたりなどで



男性が優遇されている
 どちらかといえば男性が優遇されている
 平等である

どちらかといえば女性が優遇されている
 女性が優遇されている
 無回答

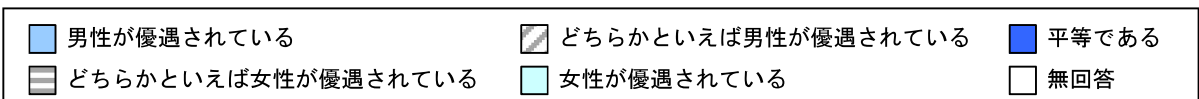
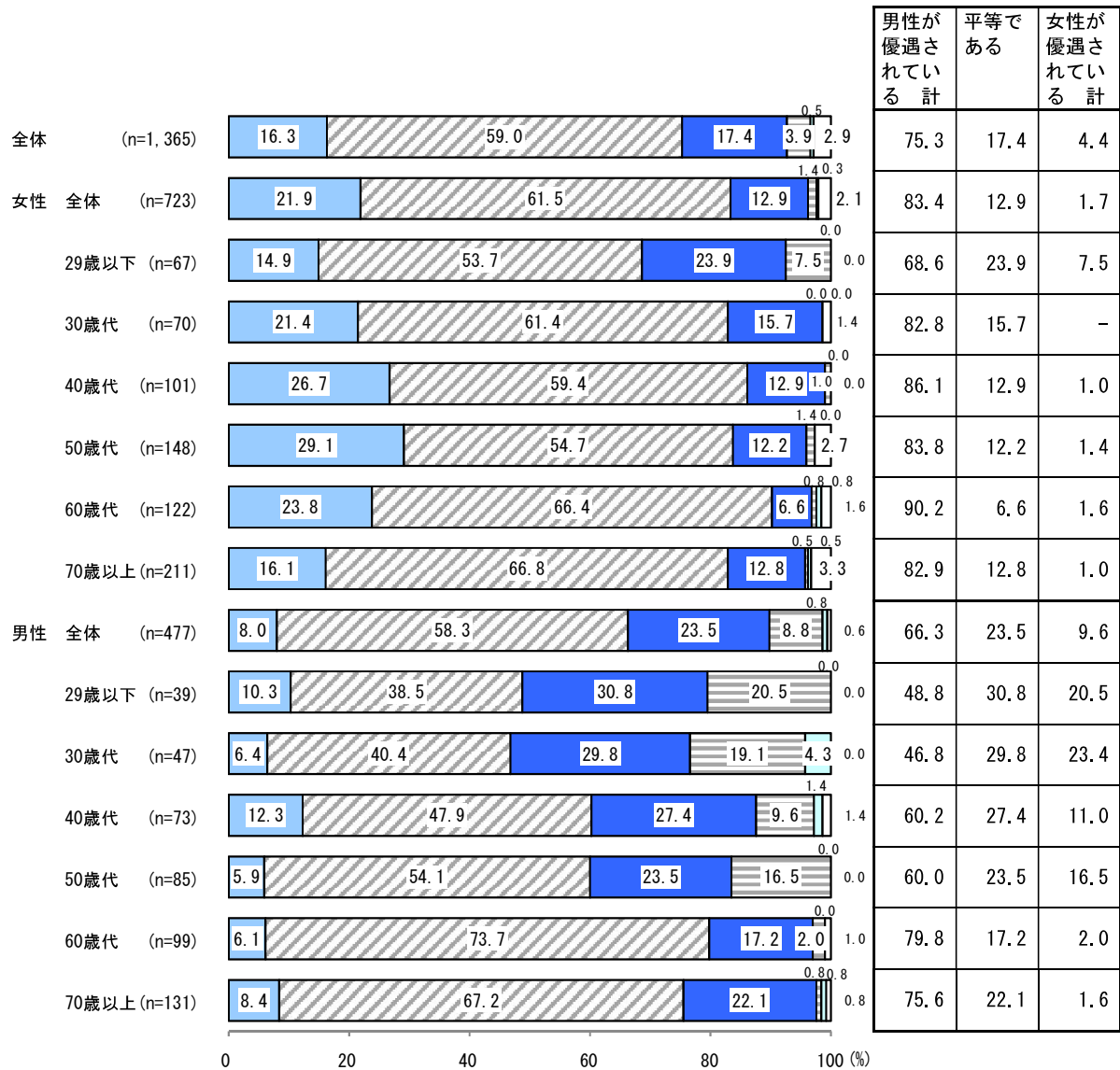
【前回調査（令和2年）】



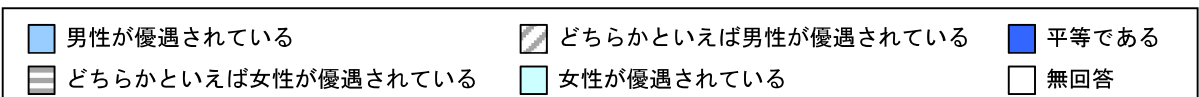
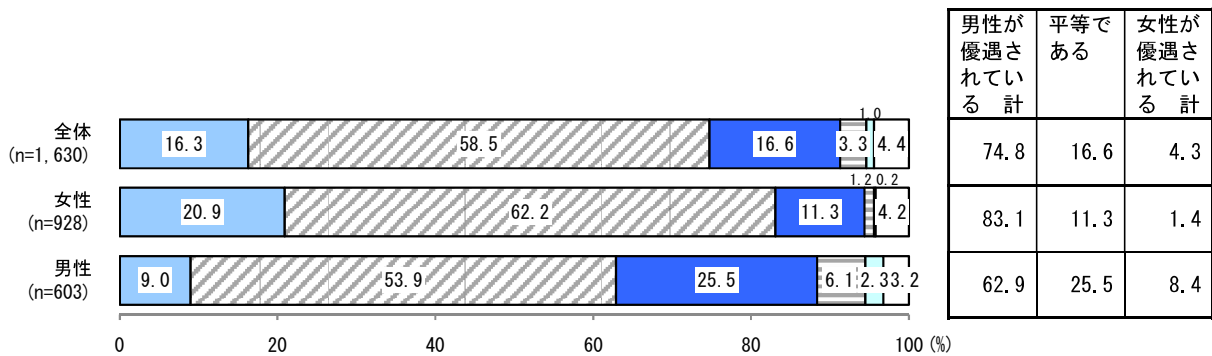
男性が優遇されている
 どちらかといえば男性が優遇されている
 平等である

どちらかといえば女性が優遇されている
 女性が優遇されている
 無回答

(H) 社会全体として



【前回調査 (令和2年)】



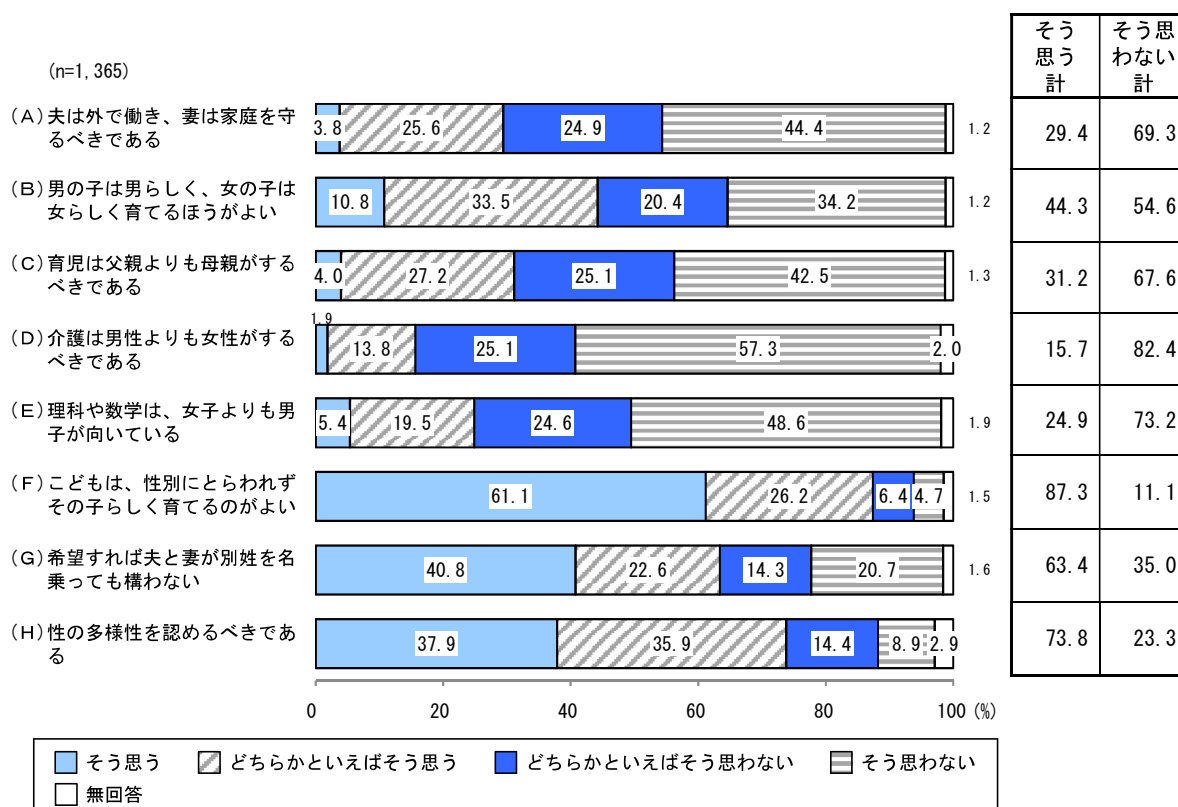
(2) 家庭生活などに関する意識について

問2 次の考え方について、あなたはどのように思いますか。(それぞれ○は一つ)

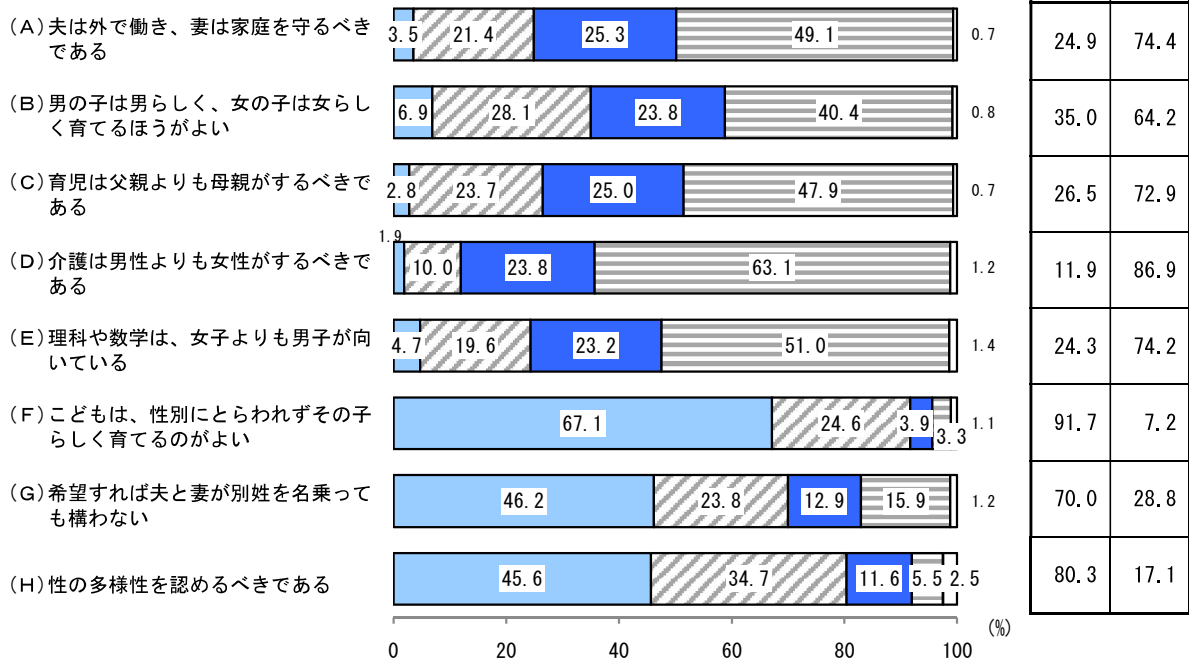
全体では、『(F) こどもは、性別にとらわれずその子らしく育てるのがよい』『(G) 希望すれば夫と妻が別姓を名乗っても構わない』『(H) 性の多様性を認めるべきである』では“そう思う計”の割合が“そう思わない計”を上回っている。

性別で見ると、女性の“そう思う計”の割合は『(G)希望すれば夫と妻が別姓を名乗っても構わない』『(H)性の多様性を認めるべきである』で男性に比べて10ポイント以上高い。男性の“そう思う計”の割合は『(A)夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである』『(B)男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるほうがよい』『(C)育児は父親よりも母親がするべきである』で女性に比べて10ポイント以上高い。

前回調査との比較では、(A)から(E)の各質問に対し“そう思う計”の割合、つまり家事や子育て・介護などは女性の役割であることやこどもを男の子らしく、女の子らしく育てるほうがよいと考えている割合が前回より高くなっている項目は、『(F)こどもは、性別にとらわれずその子らしく育てるのがよい』である。また、(F)から(H)の各質問に対し“そう思う計”、つまりこれらの考え方に賛同する割合が前回より高くなっている項目は、『(G)希望すれば夫と妻が別姓を名乗っても構わない』である。これら以外の項目は、いずれも前回の割合より低くなっている。

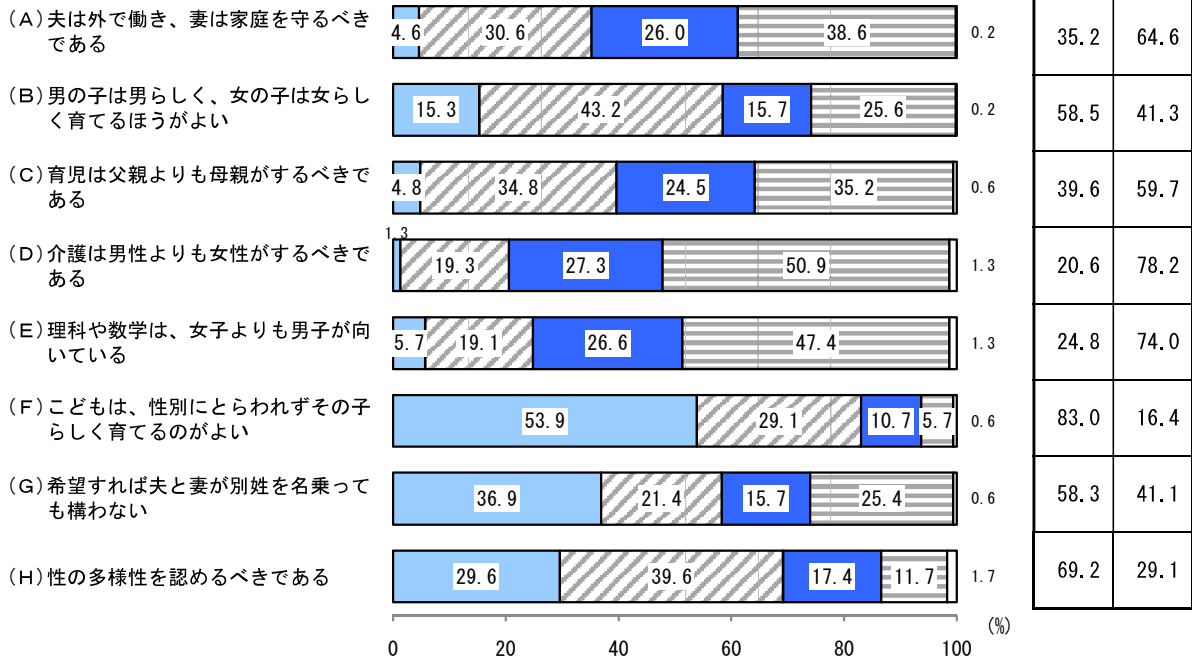


女性(n=723)



■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない □ 無回答

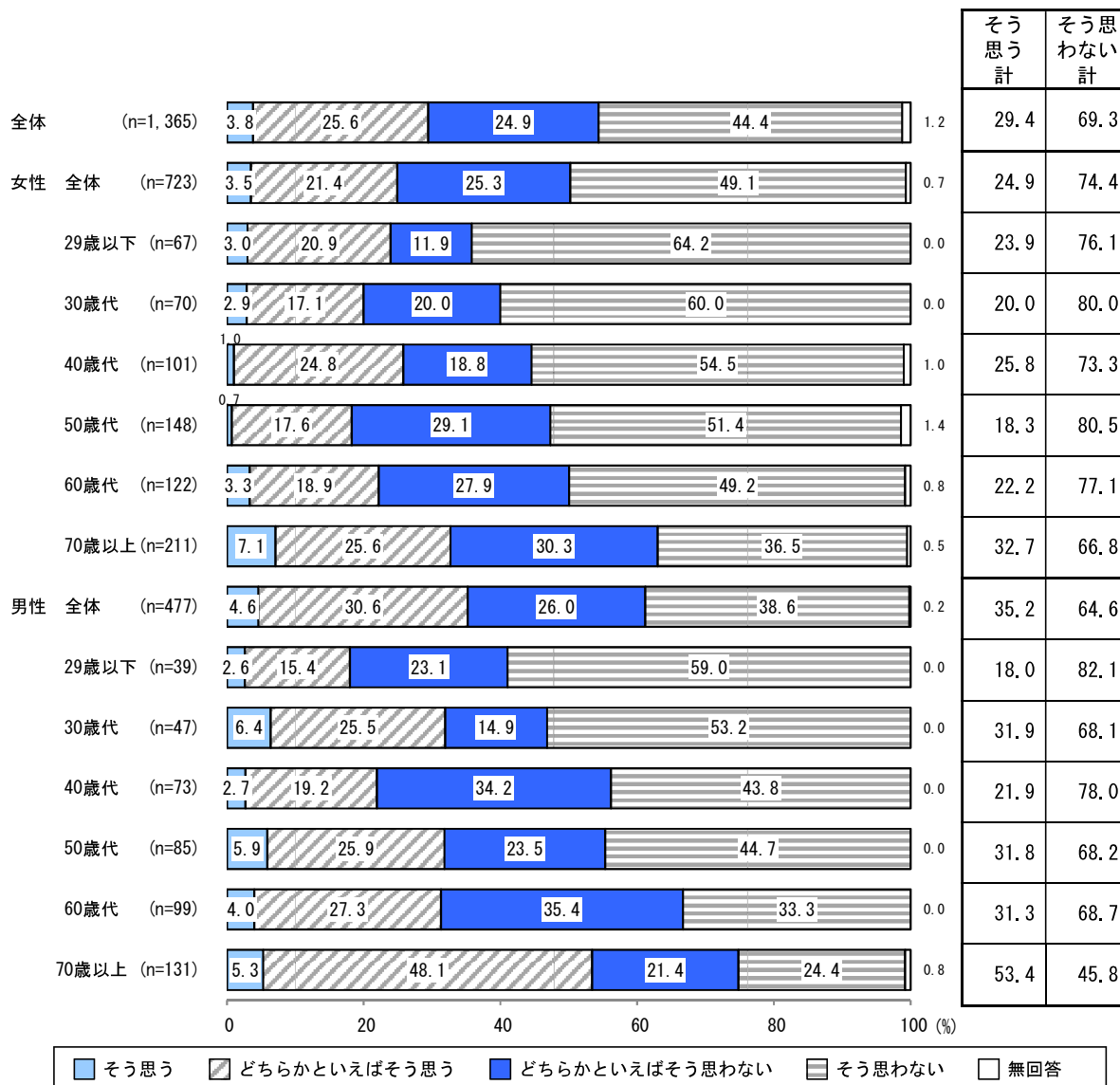
男性(n=477)



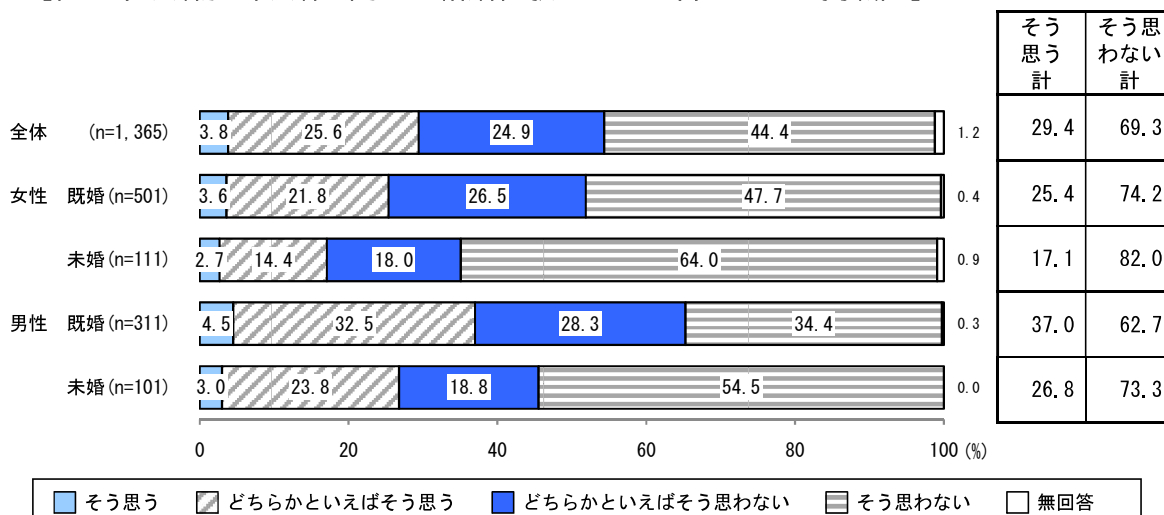
■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない □ 無回答

(A) 夫は外で働き、妻は家庭をまもるべきである

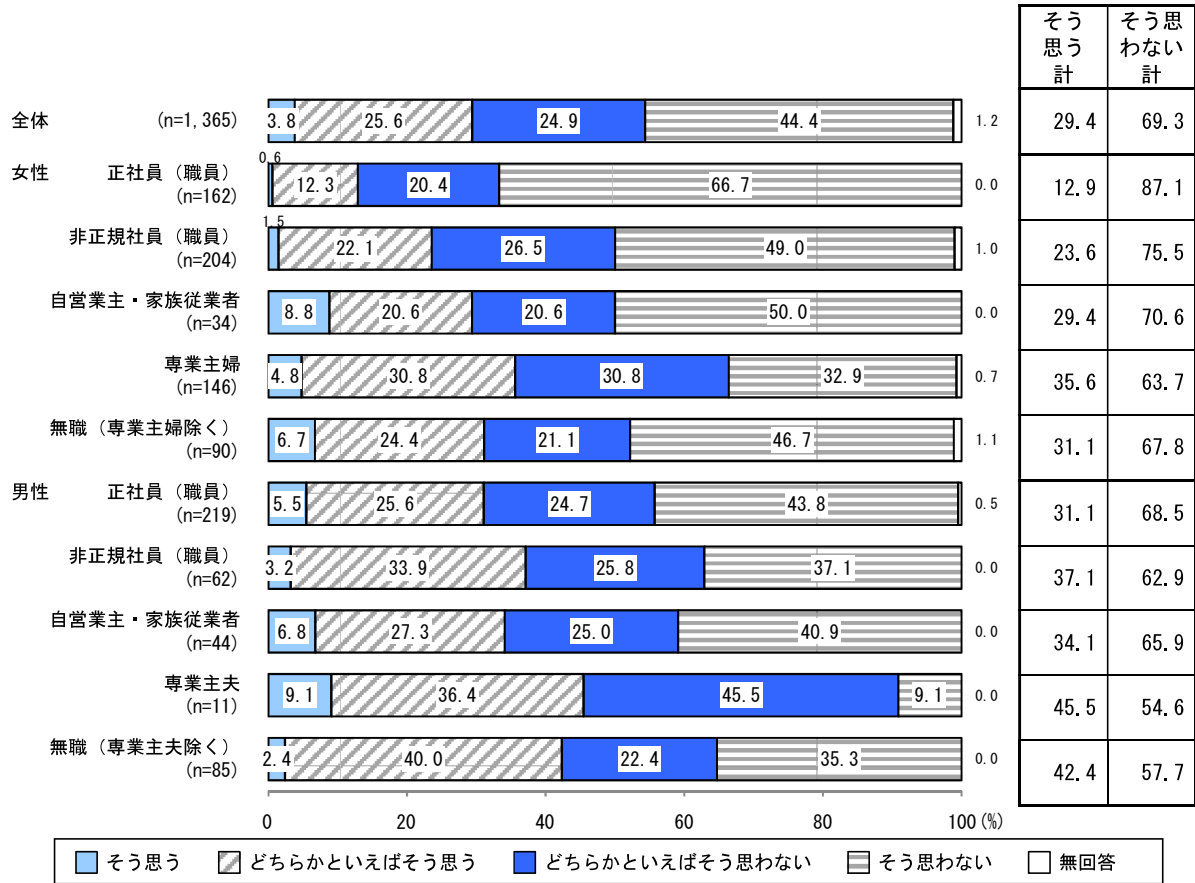
性・年代別でみると、“そう思わない計”の割合は概ね男女ともに年代の低い方が高く、性・未既婚別では男女ともに未婚者の方が高い。また、性・勤務形態別では特に女性の正社員（正職員）で高い。前回調査と比較すると、全体・男女ともに“そう思わない計”は高い。



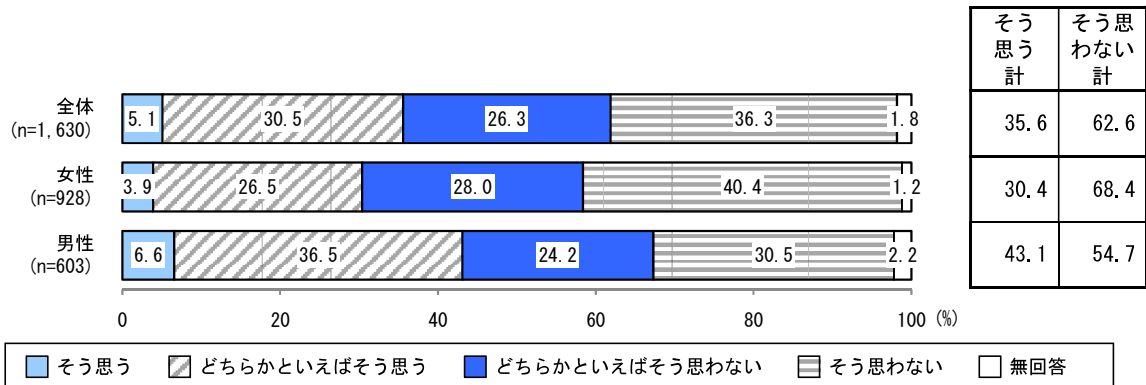
【性・未既婚別（既婚…問24で結婚経験がありと答えた方を掲載）】



【性・勤務形態別】

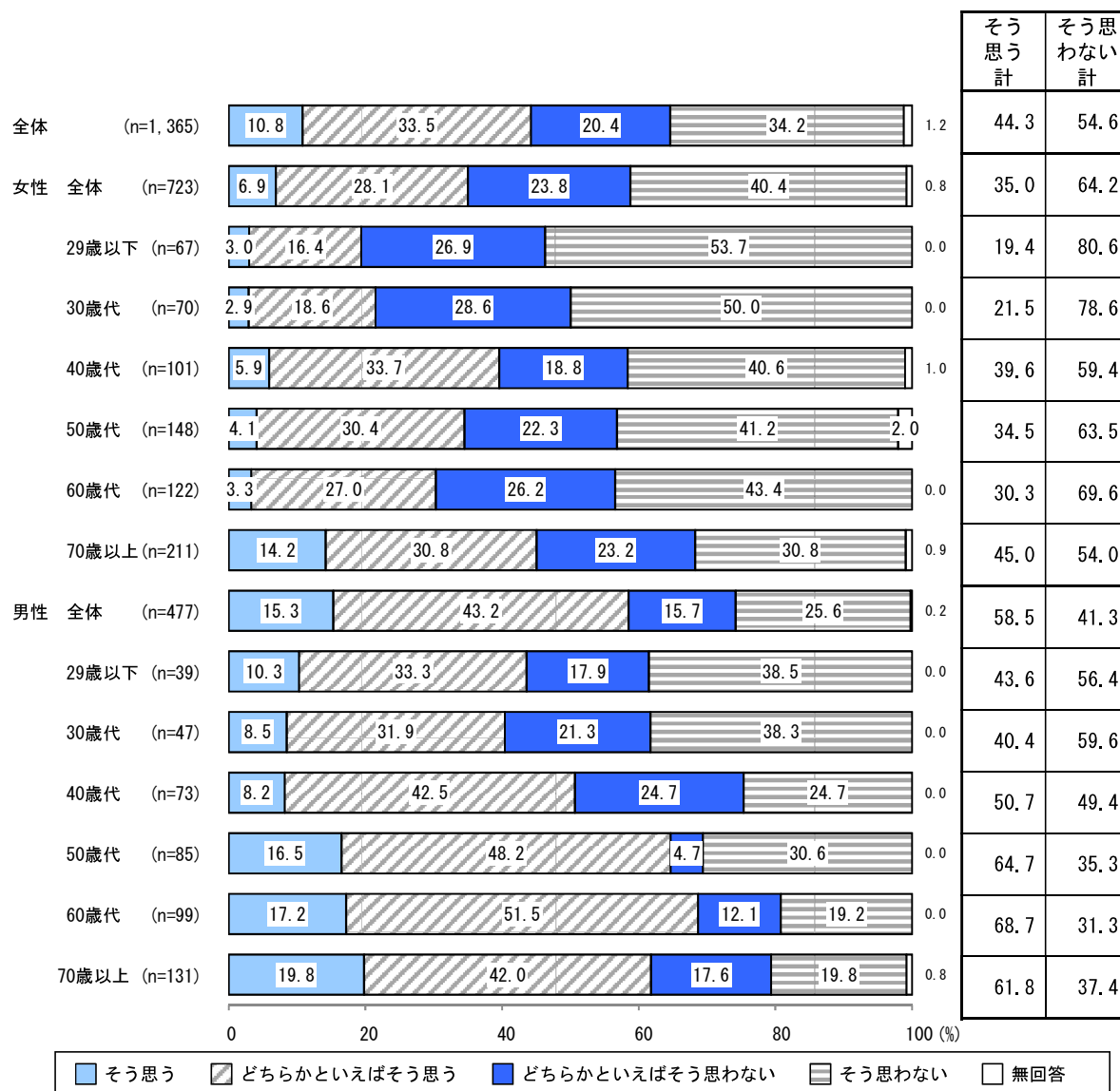


【前回調査（令和2年）】

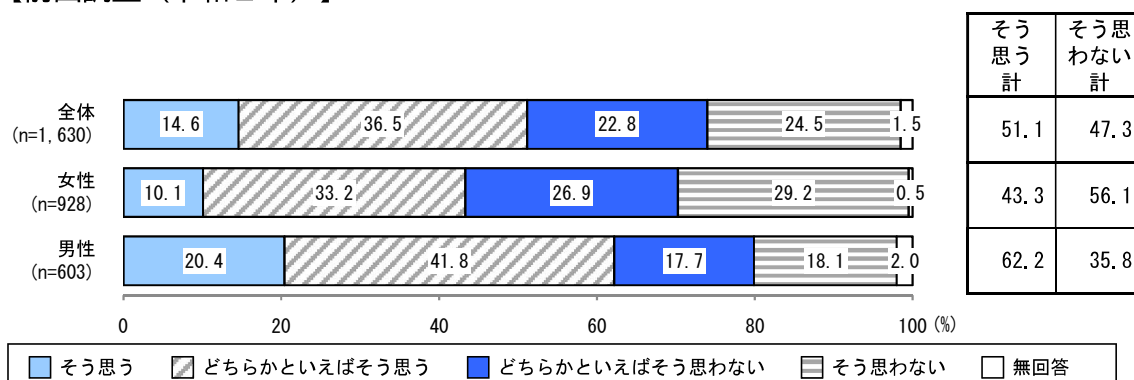


(B) 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるほうがよい

性・年代別でみると、“そう思わない計”の割合は男性の年代が高くなるにつれて低くなっており、40歳代以上で50%を下回る。すべての年代で男性の“そう思わない計”の割合が女性に比べて低く、60歳代では男女差が38.3ポイントと大きくなっている。

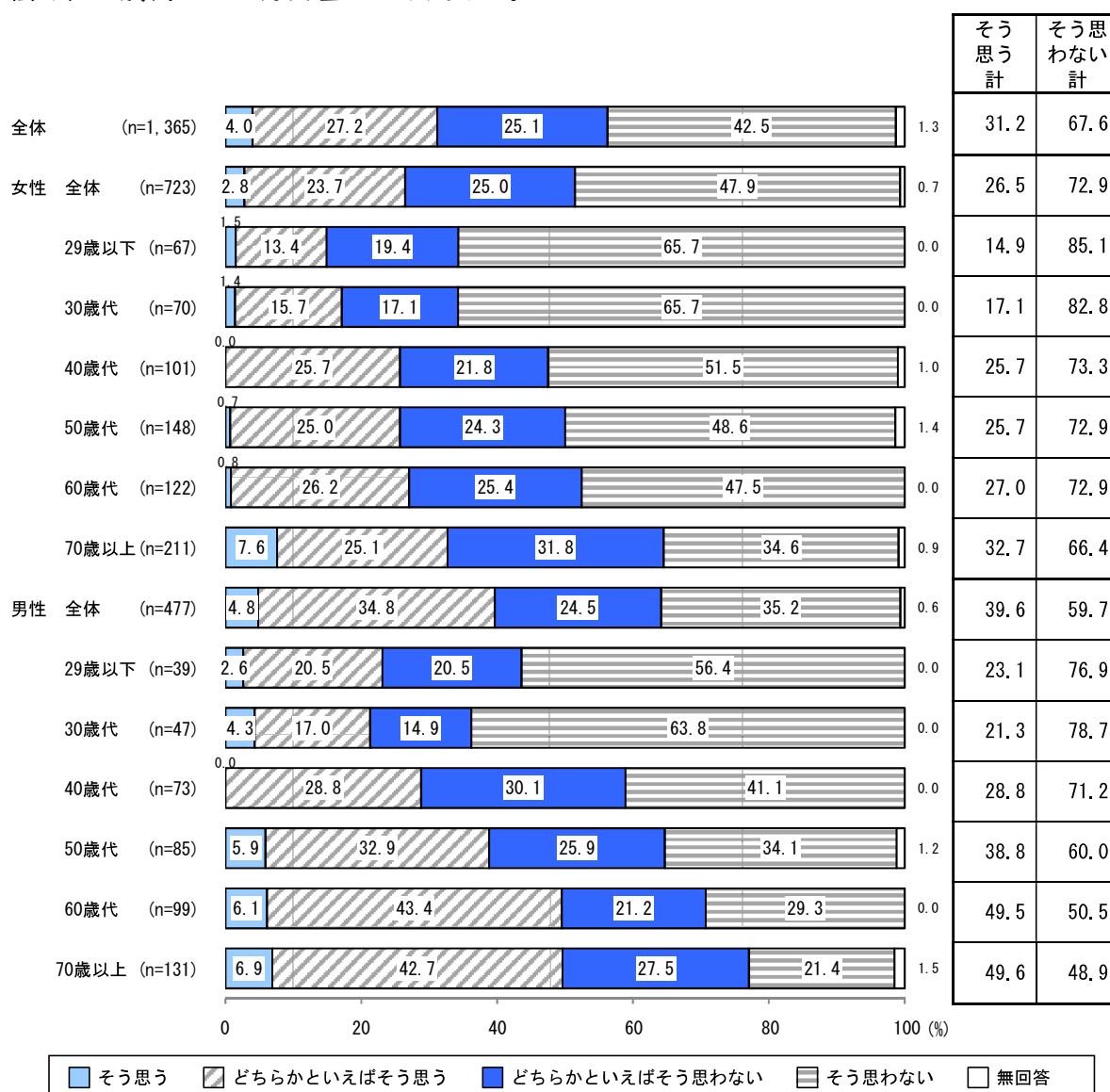


【前回調査（令和2年）】

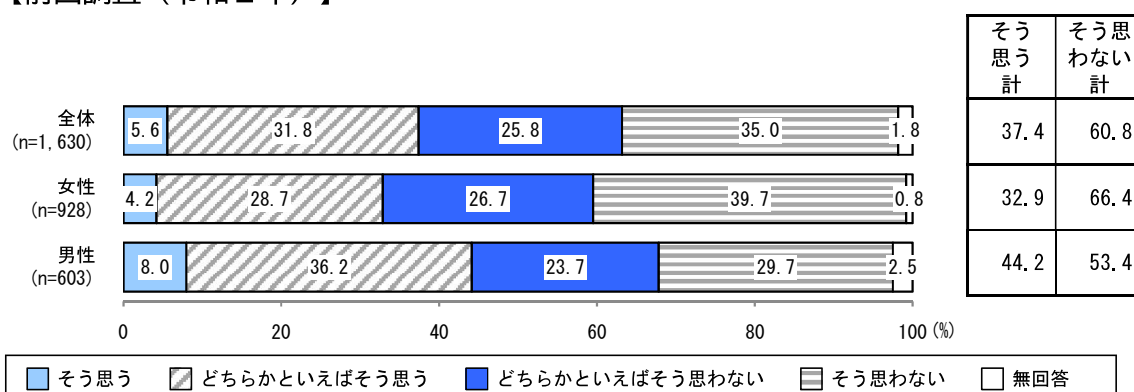


(C) 育児は父親よりも母親がすべきである

性・年代別でみると、“そう思わない計”の割合は、女性は60歳代以下、男性は40歳代以下が70%以上と高い。すべての年代で男性の“そう思わない計”の割合が女性に比べて低く、50歳代以上で男女差がより大きい。

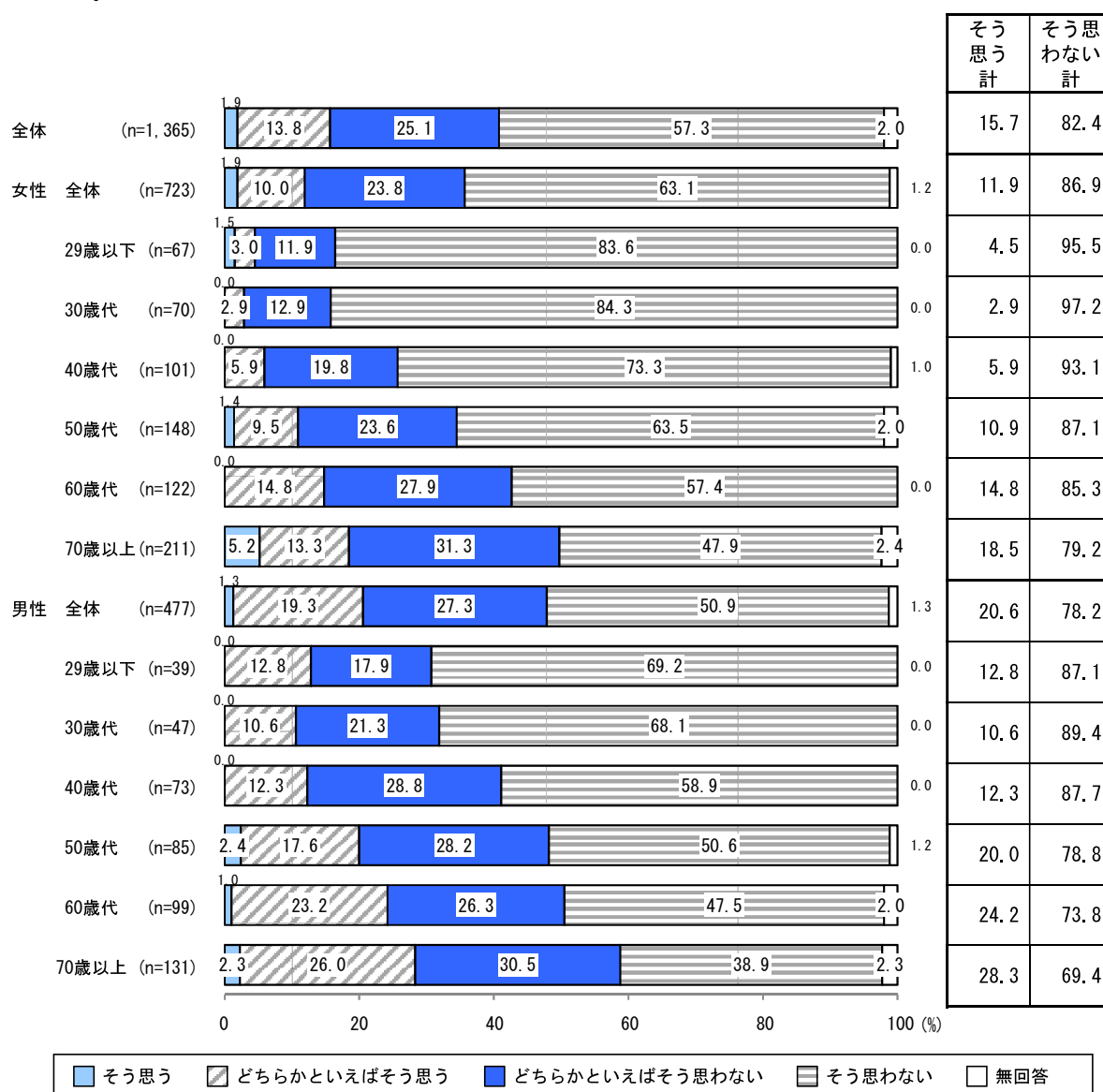


【前回調査（令和2年）】

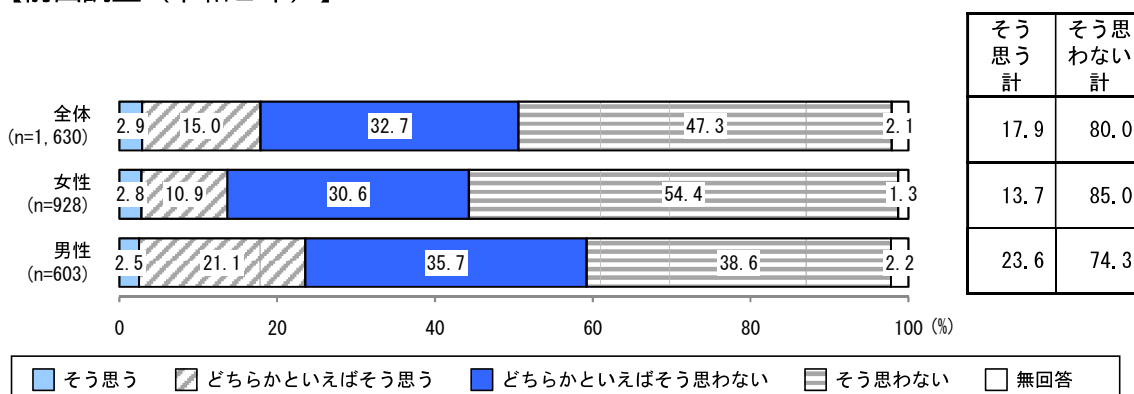


(D) 介護は男性よりも女性がすべきである

性・年代別でみると、“そう思わない計”の割合は男女とも年代が高くなるほど概ねその割合は低い。すべての年代で男性の“そう思わない計”の割合が女性に比べて低くなっている。

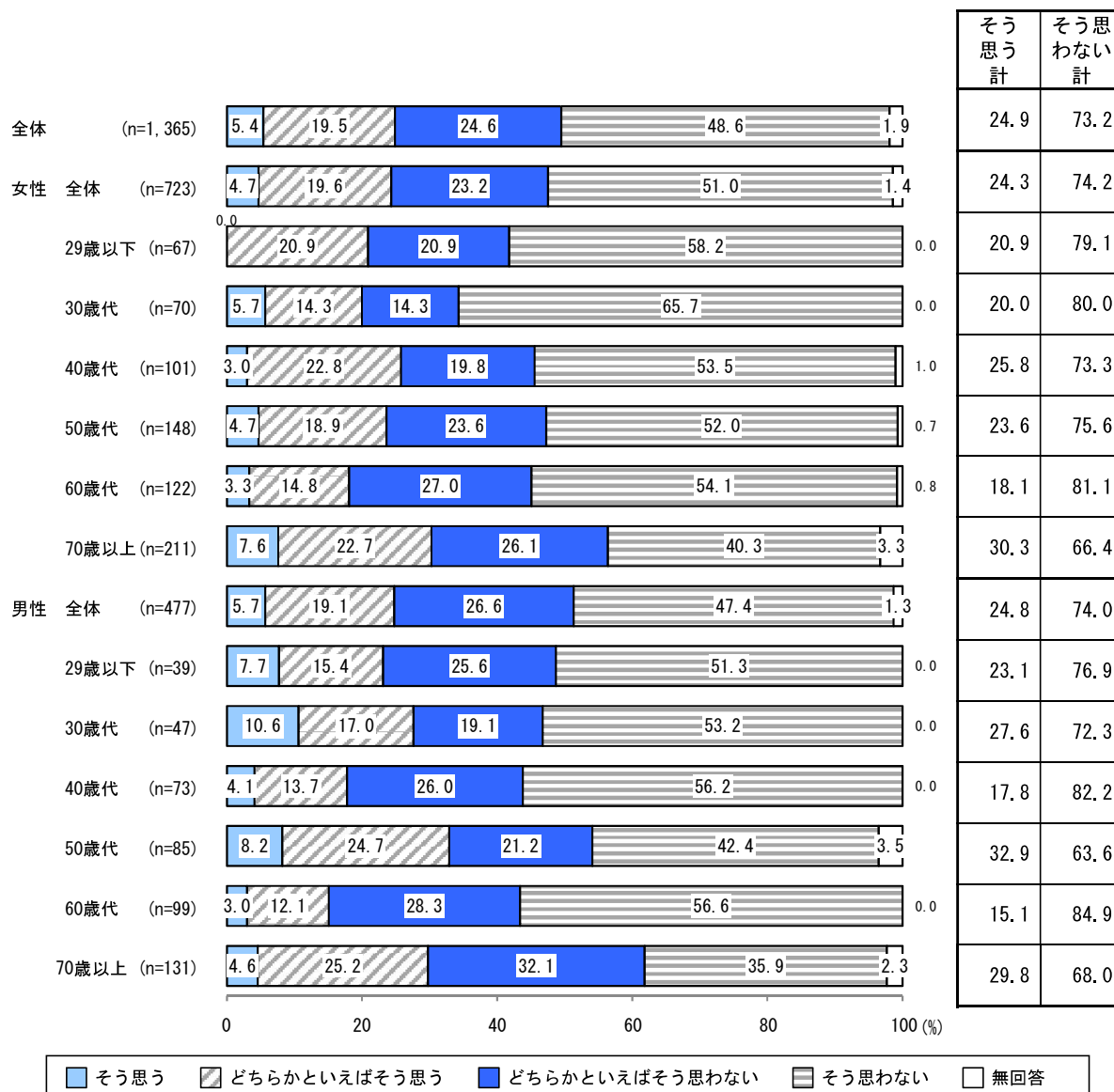


【前回調査（令和2年）】

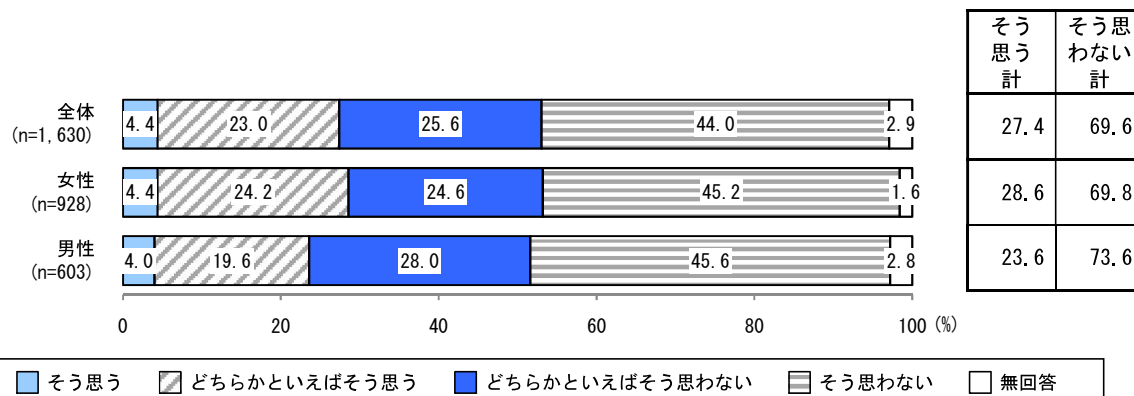


(E) 理科や数学は、女子よりも男子が向いている

性・年代別でみると、“そう思わない計”の割合は30歳代以下及び50歳代で女性が男性に比べて高く、50歳代では男女差がより大きい。

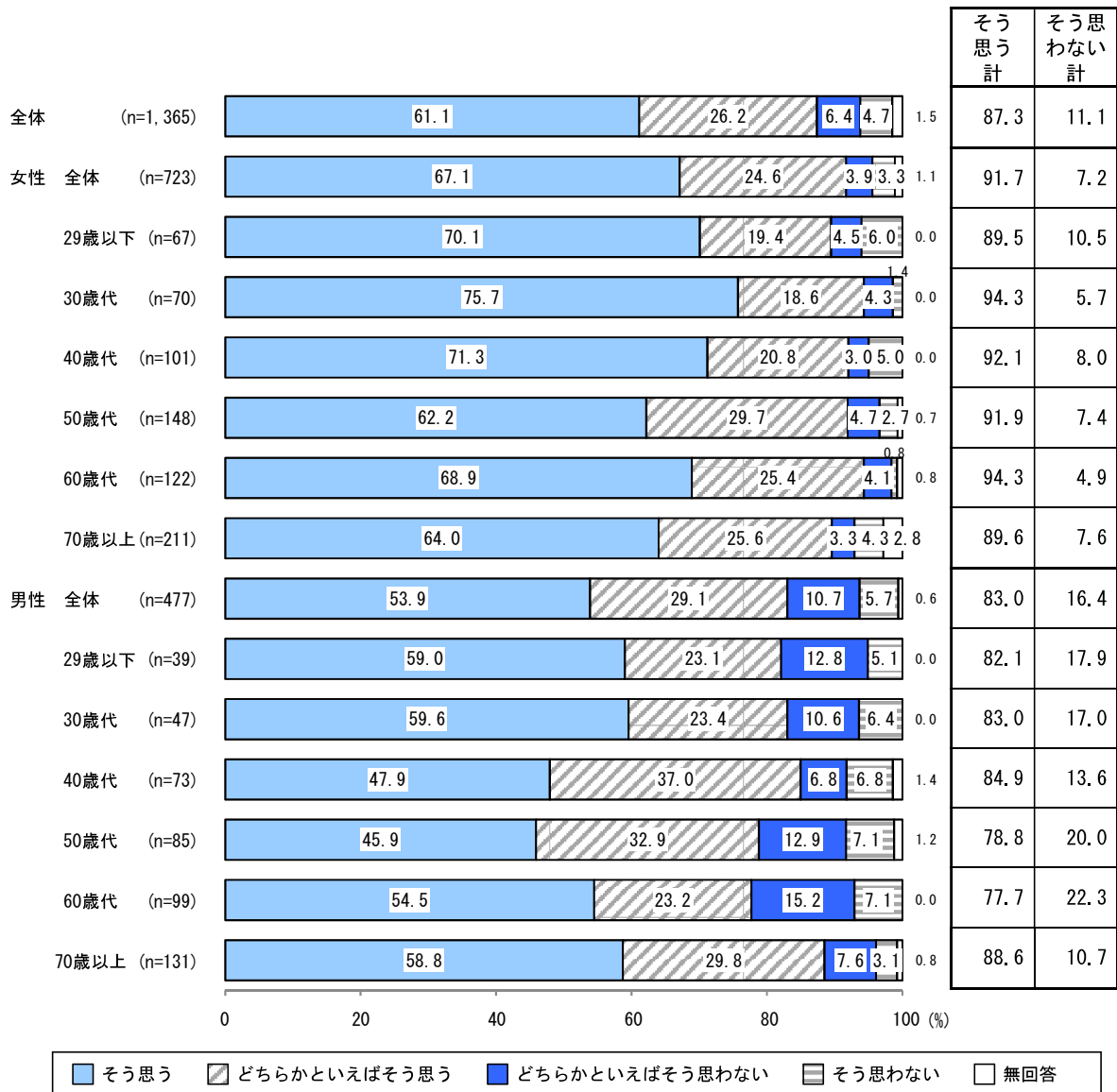


【前回調査（令和2年）】

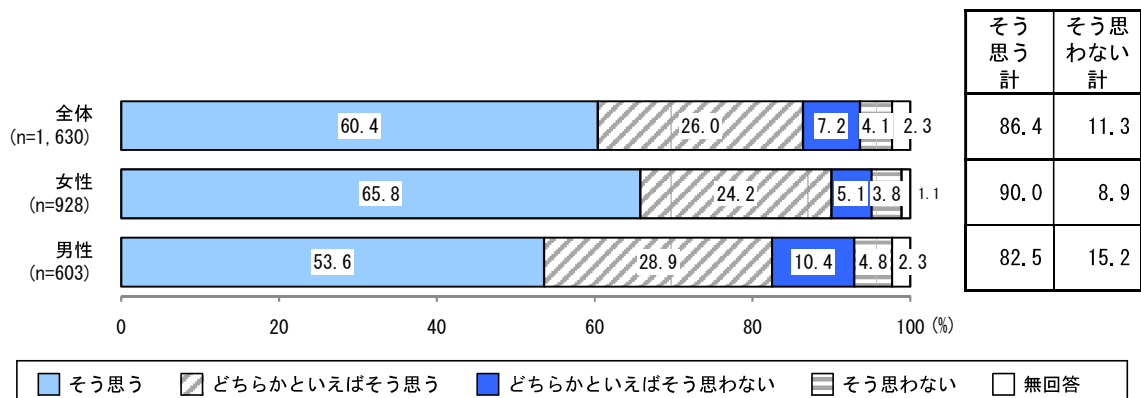


(F) こどもは、性別にとらわれずその子らしく育てるのがよい

性・年代別でみると、“そう思う計”の割合は男性の50・60歳代以外のすべての年代で80%を超えている。すべての年代で女性の“そう思う計”の割合が男性に比べて高くなっている。

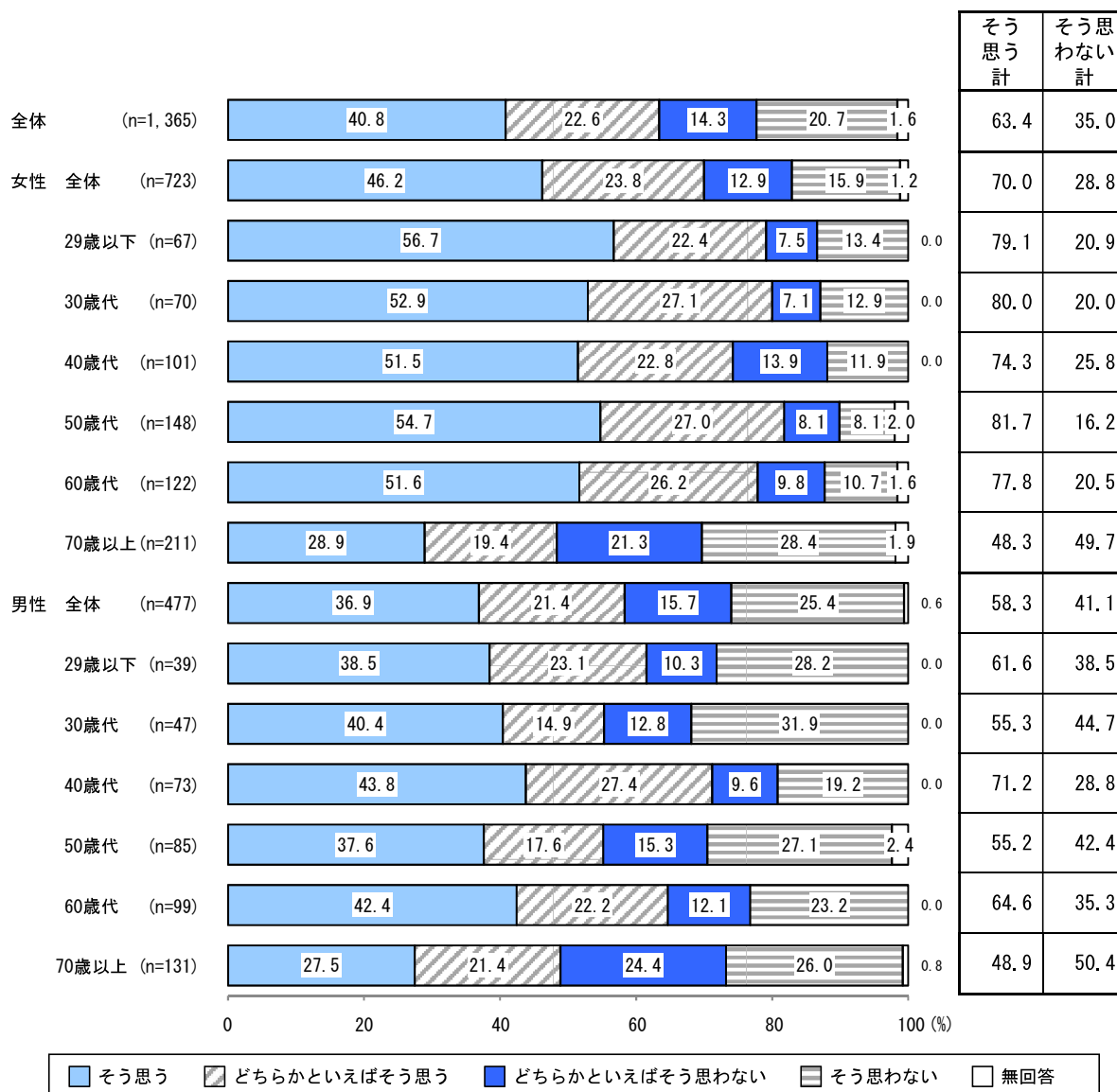


【前回調査（令和2年）】

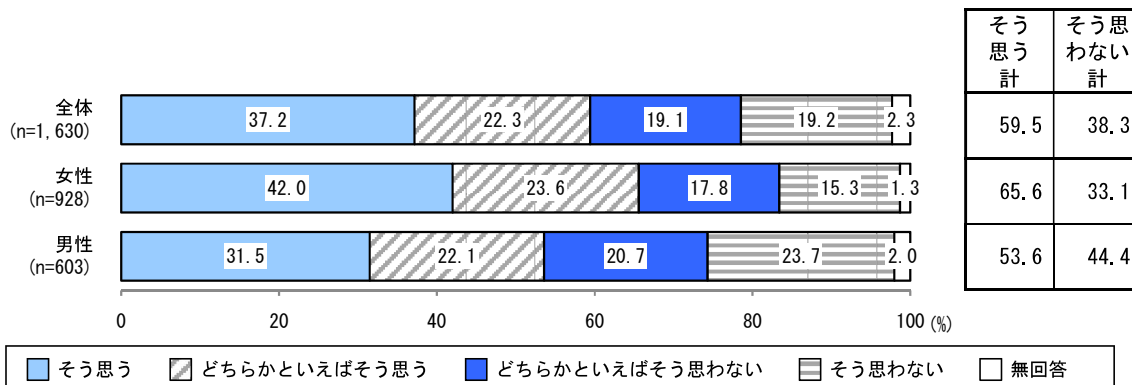


(G) 希望すれば夫と妻が別姓を名乗っても構わない

性・年代別でみると、“そう思う計”の割合は女性の60歳代までの年代では70~80%を占めている。70歳以上を除くすべての年代で女性の“そう思う計”の割合が男性に比べて高く、50歳代で男女差がより大きい。

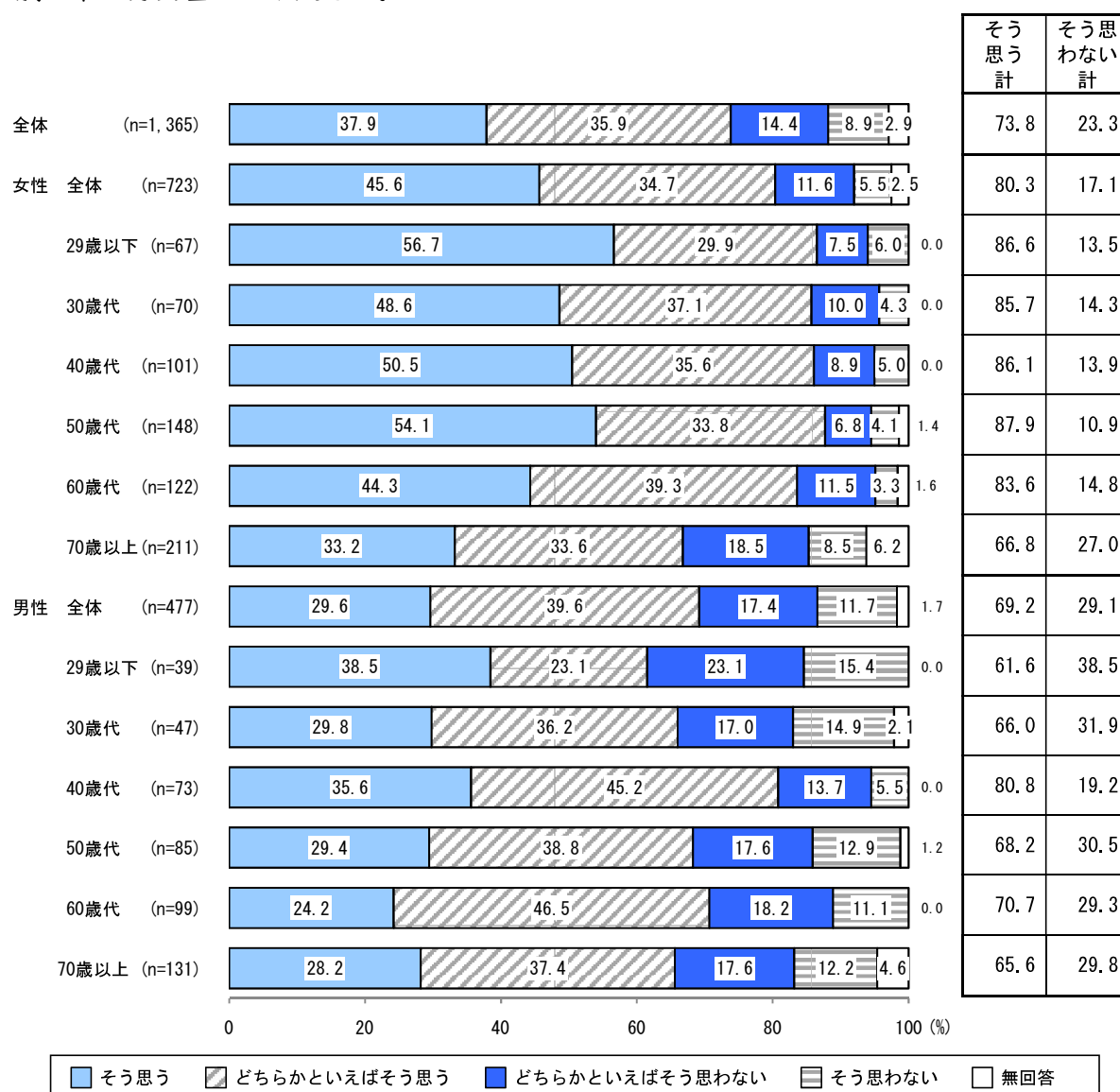


【前回調査（令和2年）】

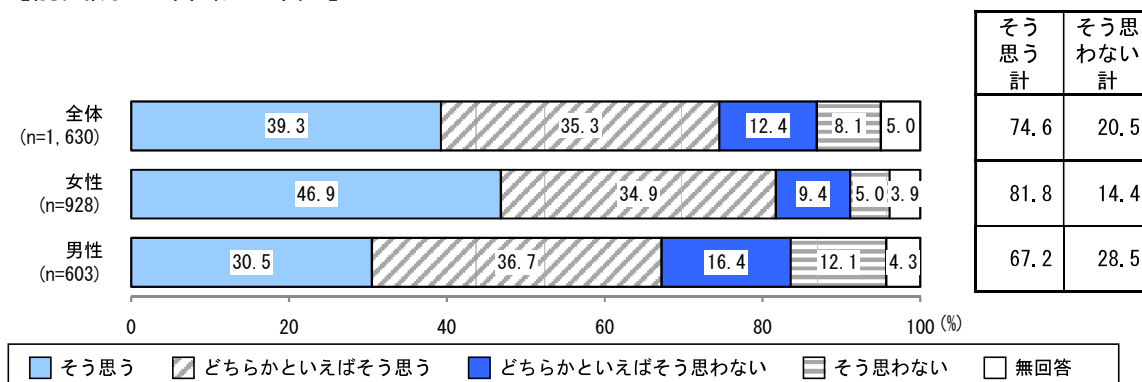


(H) 性の多様性を認めるべきである

性・年代別でみると、“そう思う計”の割合は女性の60歳代までの年代及び男性の40歳代で80%台と高い。すべての年代で女性の“そう思う計”の割合が男性に比べて高く、29歳以下で男女差がより大きい。



【前回調査（令和2年）】



(3) もっと女性が増えた方がよい職業や役職

問3 あなたが、今後女性が増えた方がよいと思う職業や役職はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

全体では「国会議員・地方議員などの政治家」が59.8%で最も多く、次いで「医師」が56.7%となっている。

性別で見ると、女性では「医師」が62.5%で最も多く、男性に比べて11.1ポイント高くなっている。

前回調査との比較で見ると、全体ではいずれの項目も前回より割合が高く、前回調査では「医師」が54.9%で最も高くなっている。

(単位：MA%)	今回調査			前回調査(令和2年)		
	全体 (n=1,365)	女性 (n=723)	男性 (n=477)	全体 (n=1,630)	女性 (n=928)	男性 (n=603)
大臣や閣僚	56.2	57.1	61.0	49.1	53.4	43.3
地方自治体の首長(知事、市長など)	54.6	55.6	57.9	47.7	49.2	46.4
国会議員・地方議員などの政治家	59.8	60.9	63.1	53.1	56.1	49.3
国家公務員・地方公務員の管理職	48.1	49.0	49.9	42.8	46.7	37.3
裁判官・検察官・弁護士	50.0	54.4	47.0	44.4	49.5	38.1
大学教授	35.8	36.5	37.7	29.4	31.3	27.4
企業の管理職	53.3	55.5	52.4	46.1	48.9	43.0
起業家・経営者	42.6	43.8	43.8	38.3	41.2	35.3
団体(組合、NPO、自治会等)の役員	36.9	37.3	37.5	28.6	29.6	26.4
学校長・大学学長	36.3	37.3	37.1	29.3	32.2	25.9
新聞・放送の記者	30.7	31.0	30.4	24.7	27.2	21.1
医師	56.7	62.5	51.4	54.9	59.5	49.1
科学者	34.7	34.0	35.4	28.5	29.7	27.4
その他	3.6	2.6	6.1	1.7	1.5	2.0
特にない	12.4	10.4	13.6	13.3	11.2	16.1
無回答	1.0	0.7	0.2	2.5	2.0	2.8